

## 第26期（'22年度）第2回県社保協 幹事会 レジюме

- I. 開催日時：2022年11月16日（水曜） 14：00～  
 II. 場 所：県労連会館 2階会議室  
 III. 出 欠：

○	大竹 進 (会 長)	○	天野 慶一 (幹 事)
○	山本 公行 (副会長)	○	門倉 恵里奈 (幹 事)
○	秋元 春美 (副会長)	○	平山 亮一 (幹 事)
○	小倉 功 (副会長)	○	福士 学 (幹 事)
○	県生健会会長 (副会長)	—	神 江美 (事務局次長)
○	荒岡 英孔 (幹 事)	—	工藤 詔隆 (事務局次長)
○	安西 英軌 (幹 事)	○	對馬 康文 (事務局次長)
○	鈴木 正 (幹 事)	○	新谷 進一 (事務局次長)
—	古川 直角 (幹 事)	○	津川 文彦 (事務局次長)
			事務局会議には山本公行・小倉功・門倉参加

### 1. 活動記録及び日程

- 07/23 第26回青森県社会保障推進協議会総会
- 08/03 第66回中央社保協総会 代議員2名参加
- 08/09 第26期第1回事務局会議 6名
- 08/10 幹部学習会 3名
- 08/27 第15弾コロナなんでも相談会
- 08/31 西北五社保協役員会議
- 09/01 新介護保険署名キックオフ集会
- 09/02 いのちのとりで裁判青森地裁口頭弁論
- 09/14 第2回県社保協事務局会議 7名
- 09/17 中央社保協学校 from 千葉 5名参加
- 09/18 中央社保協学校 from 千葉 5名参加
- 09/21 第1回県社保協幹事会
- 09/26 北海道東北ブロック事務局長会議
- 09/26 いのちのとりで街宣
- 09/29 中弘南黒社保協役員会
- 10/03 子どもの医療費無料化を求める国会内集会
- 10/05 西北五社保協役員会及びキャラバン学習会
- 10/12 第3回県社保協事務局会議
- 10/18 津軽保健生協社保平委員会主催自治体キャラバン学習会
- 10/20 上十三社保協 総会及びキャラバン学習会
- 10/21 三八社保協 役員会及び学習会
- 10/24 五所川原市とのキャラバン要請行動懇談【10名】
- 10/25 板柳町・鶴田町・鯨ヶ沢町・深浦町キャラバン要請行動懇談
- 10/27 藤崎町・西目屋村・弘前市キャラバン要請行動懇談
- 10/28 黒石市・平川市・大鰐町・中泊町キャラバン要請行動懇談
- 11/01 田舎館村・七戸町・東北町・野辺地町・横浜町キャラバン要請行動懇談
- 11/02 十和田市・おいらせ町キャラバン要請行動懇談
- 11/06 県高齢者大会
- 11/07 青森市キャラバン要請行動懇談
- 11/08 第4回県社保協事務局会議

11/09 六ヶ所村・東通村・むつ市キャラバン懇談  
11/09 県政記者クラブへの申し入れ(11月11日介護・認知症相談会)  
11/10 佐井村、大間町、風間浦村、新郷村キャラバン要請行動懇談  
11/11 介護・認知症何でも相談会  
11/16 第2回県社保協幹事会  
11/18 六戸町、三沢市キャラバン要請行動懇談  
11/25 県社保協街宣  
11/29 過労死シンポジウム  
11/30 医療研修会『県病と市民病院の統合整備について』講師 嶋谷病院局長  
12/01 八戸市キャラバン要請行動懇談

## 2. 各団体からの報告(社会保障に限定して発言をお願いします)

青生連(神).....

県労連(小倉).....

中弘南黒社保協(山本).....

P.7-16

年金者組合(天野).....

東青社保協(対馬).....

民医連(対馬).....

西北五社保協(津川).....

医労連(工藤).....

保険医協会(アラヤ).....

三八社保協(荒岡).....

P.58-59

新婦人(門倉).....

上十三社保協(安西)・・

中高年事業団(鈴木)・・・

### 3. 2022 年度中央社保協第3回運営委員会報告について

詳細は別紙

P.17-21

### 4. 討議事項について

#### 【1】 12/17 コロナなんでも無料電話相談会について

詳細 実施要項は別紙

- ① 12/17 所要時間12時から20時 (最後の相談会)
- ② 時間帯 12時から18時 場所⇒県の守る会事務所(市内造道)
- ③ 弁当準備・記者クラブへの申し入りをを行う。チラシ配布
- ③ 相談会終了後 ご苦労さん会を行う。軽食程度で打ち上げを行う

#### 【2】 自治体キャラバンについて

- ① 学習会の開催済み  
津保社保委員会学習会10/18・上十三学習会10/20・三八学習会10/21
- ② キャラバン懇談の報告【別紙】
  - ・西北五・・・・
  - ・中弘南黒・・・
  - ・上十三・・・・
  - ・下北・・・・
  - ・東青・・・・
  - ・三八・・・・
- ③ 結果をもとに ①集約し、県当局への要求書づくり ②県当局との交渉(1月)

### 【3】 11/11介護・認知症 何でも電話相談について

民医連・医労連・県労連を中心に相談員を募集

P.22-39

- ①10-13 (山本・石垣・鎌田・菊池・神・工藤・津川)
- ②13-16 (今・菊池・小倉・工藤・津川)
- ③16-18 (小倉・菊池・神・工藤・津川)

※相談件数 7件

相談内容 ⇒⇒別紙

### 【4】 424(440)地域医療を守る運動の推進について

P.40-42

別紙参照

- 県民の医療を守る観点から県社保協として学習会を企画
- 日時11月30日(金) 14時から16時
- 場所は アスパム5階 白鳥 平時は90名コロナ禍では45名
- 講師は 嶋谷嘉英県病院局長 スライドで60分予定  
質問時間を設ける30分程度
- 参加目標 各縦線団体5名以上 各地域社保協は複数以上 集約します  
早めに申し込みをお願いします。

○東青社保協・・・県病と市民病院合併について「説明会開催して欲しい」  
建設場所 3案提示

○三八社保協区域・三戸中央病院・五戸総合病院・南部医療センター  
三八社保協内で協議中

○上十三社保協・・・おいらせ病院  
懇談願提出すみ⇒ 当面懇談を見合わせたいとの事⇒検討必要

○むつ・下北の地域医療を考える会結成される 川内対策 里山資本主義  
※11/9キャラバンの後、大竹・津川でむつ市に向かうことしていたが、  
事務局担当の工藤議員が新潟出張のため、実現しなかった。  
現地の要望として現地のコアな方々が集まった時に開催したい。(打ち合わせ)

## 【5】国の制度として18歳までの医療費無料化について

P.43-44

- ①ここ数年で大きく前進(高校生まで・所得制限の撤廃)
- ②高校卒まで全国38%(県内は45%)
- ③対象年齢・所得制限・現物給付か償還払いか・給食費無料
- ④全国まちまち⇒⇒国として統一した制度へ
- ⑤一人親家庭は高校卒まで無料【県内すべての市町村 県費あり】
- ⑥市町村への財政支援は6歳未満まで・小学・中学・高校は市町村の単独事業
- ⑦子ども医療費助成を現物給付自治体への国庫負担減額措置(ペナルティ)を廃止

### 《請願事項》

1. 18歳年度末までを対象とする国の医療費窓口負担無料制度(入院時の食事負担を含む)を早期に創設すること。
2. 子ども医療費助成を現物給付した自治体への国庫負担減額措置(ペナルティ)を廃止。

### 注意すべき点

- ①自治体によっては後退するところも出る。給食費負担しないとか
- ②申請主義・受診券交付方式・国保滞納世帯等への受診券の取り扱い

## 【6】署名及び集会への参加について

P.45-52

- ①マイナ保険証とマイナンバー反対署名 1万筆目標  
院内集会 11/17(木)12時30分~14時30分 zoom  
3名目標 ( . . . )
- ②第13回地域医療を守る運動全国交流集会の参加について  
日時 11/23(水)13時から zoom  
3名目標 ( . . . )
- ③連続学習会(中央社保協)
- ④国保改善運動学習交流集会 zoom  
日時12月11日(日)13時30分~zoom  
5名目標 ( . . . )

## 【7】今年の過労死シンポについて

日時 11月29日(火)午後6時より  
場所 労働福祉会館(ローフク会館)  
多数の参加を! 参加  
参加目標⇒5名以上の目標で取り組む

## 5. その他

2022年度署名目標（19団体）

## 【新規署名】

- ・ 国の制度で18歳までの医療費料に署名 【目標1万筆】
- ・ マイナンバーカード反対署名(11月末まで) 【目標1万筆】
- ・ 介護保険制度の改善を求める請願署名 【目標1万筆】
- ・ 若者も高齢者も安心できる年金と雇用を 【目標1万筆】
- ・ 憲法改悪を許さない全国書名 昨年からの署名
- ・ 新しいのちの署名(検討中) 【目標1万筆】

後日、数だけ集計しますので、報告をお願いします。

なお、署名そのものは縦線を通じて各上部団体へ提出をお願いします。

## 【 社保協の街宣 】

青森地域の街宣、11/25（金）

とりで裁判支援 ⇒ 12:15~12:45

県社保協街宣 ⇒ 12:45~13:15(県社保協)

場所： さくら野前 利用届は 12:00~14:00

## 【 今後の会議日程 】

- ① 第1回事務局会議 ⇒⇒ 8/ 9（火）13:30~
- ② 第2回事務局会議 ⇒⇒ 9/14（水）13:30~ 変更
- ③ 第1回幹事会 ⇒⇒ 9/21（水）14:00~
- ④ 第3回事務局会議 ⇒⇒ 10/12（水）13:30~
- ⑤ 第4回事務局会議 ⇒⇒ 11/ 8（火）13:30~
- ⑥ 第2回幹事会 ⇒⇒ 11/16（水）14:00~
- ⑦ 第5回事務局会議 ⇒⇒ 12/13（火）13:30~
- ⑧ 第6回事務局会議 ⇒⇒ 01/10（火）13:30~
- ⑨ 第3回幹事会 ⇒⇒ 01/18（水）14:00~

## 第5回幹事会 報告

日時：2022年10月19日（水）午後4時～4時45分

場所：健生労組事務所

出席）仁平会長（○）、村上副会長（ ）、藤原副会長（○）、山本事務局長（○）、  
相馬事務局次長（○）、一戸幹事（○）、工藤幹事（ ）、木下幹事（ ）、田中幹事（○）、  
武田幹事（○）、石垣幹事（○）、工藤剛幹事（○）、

### 経 過

- 9月 28日（水）第4回幹事会  
いのちのとりで弘前連絡会事務局会議
- 10月 4日（火）記者会見（仁平、藤原、山本）
- 7日（金）あおりアクション事務局会議（山本）
- 9日（日）第19回 *after311* 脱原発弘前映画祭
- 12日（水）県社保協事務局会議（山本）
- 19日（水）第5回幹事会

### \* 各団体の活動 \*

- ・津軽保健生協社保委員会...10月7日に国保学習会（22人）

### 議 題

#### 1 国民健康保険料引き下げの取り組み

10月4日（火）午前10時から、国保署名の取り組みについて、弘前記者クラブで、仁平会長他2人で記者会見を行なった。陸奥新報だけが臨席し、だいぶ突っ込んだ会見だったが、記事にはならなかった。

#### \* 署名の集約状況（10月19日現在）

津軽保健生協組織部：160筆、弘前生健会 28筆、健生労組 12筆、年金者組合（二川原）5筆、（合計 205筆）

\* 弘前市国保運営協議会が10月24日（月）午後1時半から、弘前市社会福祉センターの大会議室で開催される。傍聴予定者は、武田・平山・小山内（下林）、山本。

11月15日（火）にも開催予定。

\* 街頭宣伝 11月2日（水）12：30～13：00、駅前ヨーカドーで

参加予定者は、藤原・山本・相馬・田中

## 2 自治体キャラバンについて

田舎館村から、懇談日程の変更の連絡があり、11月1日(火)となった。日程は、別紙の通りとなります。県社保協から昼食代(1,000円)が支給されます。(参加確認をお願いします)  
各自自治体からの回答は、メールで送りました。

介護保険特別会計は、大鰐・黒石・平川・田舎館から送られてきた。藤崎は「7冊配布します」(当日配布らしい)、弘前市は「市役所法務文書課内の市政資料コーナーに配置しております。その場での閲覧や必要ページのコピー(有料)が可能ですので、こちらをご利用くださるようお願いいたします」という回答。(翌日、閲覧に行き、弘前市の特別会計を作成し、PDFで添付しました)  
大鰐町の分析資料あり。

## 3 いのちのとりで裁判について

### ①. 裁判

本日午前、横浜地裁で勝訴判決が出ました。これで、大阪・熊本・東京・横浜の4地裁で勝訴になりました。

青森地裁の第24回口頭弁論は、12月16日(金)午後2時からで、結審となる予定。

裁判所宛の署名は、9月30日(金)に10,324筆を提出した。

### ②. 街頭宣伝

10月25日(火)午後0時半～1時、ヨーカドー前。

## 4 その他

\*年金一揆弘前集会在10月20日(木)午後4時から駅前りんご広場で、28日(金)午後3時から黒石診療所付近でスタンディング行動がある。

\*コロナなんでも相談会…10月22日(土)12:00～20:00。

▼次回幹事会 11月18日(金)午後4時～、健生労組事務所

以上



弘前市 介護保険特別会計

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保険料	3,283,713,619	3,372,523,908	3,437,459,441	3,628,632,228	3,570,906,894	3,437,458,559
使用料及び手数料	432,310	423,480	409,300	363,720	372,740	319,770
国庫支出金	4,553,752,360	4,652,402,792	4,744,343,573	4,926,450,958	4,831,105,389	4,944,264,520
支法基金交付金	4,783,306,149	4,772,611,268	4,906,632,000	4,755,140,000	4,823,680,750	5,000,833,343
県支出金	2,472,733,620	2,688,422,431	2,706,767,162	2,688,420,993	2,643,194,450	2,677,270,660
財産取入	93,247	5,385	14,275	21,374	23,492	4,303
繰入金	2,899,201,892	2,608,070,043	3,003,406,788	2,980,639,757	3,124,751,438	3,043,416,975
繰越金	243,764,057	0	311,551,021	349,049,393	403,887,475	119,269,572
債取入	969,884	4,681,388	3,313,929	1,734,420	2,518,686	7,161,749
繰入合計	18,237,967,638	18,099,140,695	19,113,897,499	19,330,452,849	19,400,441,314	19,284,999,451
総務費	378,005,724	515,313,457	425,062,242	374,276,140	373,160,466	392,278,790
保険給付費	17,100,756,273	16,935,143,031	17,101,607,727	16,832,056,441	17,161,050,946	17,612,511,763
地域支整事業費	194,746,039	224,344,202	559,570,081	1,015,573,783	1,009,583,027	928,087,845
基金積立金	249,337,850	5,385	311,565,296	349,070,767	403,910,967	119,273,875
公債費	49,818,915	49,993,493	49,880,519	65,863	0	0
諸支出金	265,302,837	62,785,106	317,162,231	355,522,380	333,466,336	124,129,552
予備費	0	0	0	0	0	0
歳出合計	18,237,967,638	17,787,589,674	18,764,848,096	18,926,565,374	19,231,171,742	19,176,281,825
赤字額(次項繰越)	0	311,551,021	349,049,393	403,887,475	119,269,572	108,717,626
介護保険財政調整基金残高(千円)	268,437	11,647	311,565	349,085	403,946	179,087
(基金残高)		11,647	311,565	349,085	403,946	179,087
基金取崩		-256,795	-11,647	-311,551	-349,049	-344,133
基金積立		5	311,565	349,071	403,910	119,274
計		-256,790	299,918	37,520	54,861	-224,859

令和4年度国民健康保険料(税)率等一覧

保険料 番号	保険者名	原額分					算出分					合計分				
		所得割 (%)	資産割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	総月額 (万円)	所得割 (%)	資産割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	総月額 (万円)	所得割 (%)	資産割 (%)	均等割 (円)	平等割 (円)	総月額 (万円)
001	青森市	9.71	/	20,040	24,720	65	2.46	/	6,360	7,680	20	2.74	/	13,800	/	17
002	弘前市	10.10	/	22,400	24,400	65	3.60	/	8,600	7,600	20	3.40	/	10,400	6,000	17
003	八戸市	8.00	/	23,000	25,000	65	2.40	/	7,000	8,000	20	2.30	/	8,000	9,000	17
004	黒石市	8.40	36.30	28,200	26,100	65	1.90	8.80	6,700	5,800	20	1.80	10.40	8,700	5,100	17
005	五所川原市	7.27	37.76	25,210	21,500	65	2.21	12.25	7,400	6,400	20	2.02	12.83	9,400	5,500	17
006	十和田市	7.70	22.40	23,600	26,800	65	2.40	5.40	8,500	7,200	20	1.80	3.00	9,100	5,600	17
007	三沢市	7.50	25.00	25,000	31,000	65	2.50	10.00	8,000	9,500	20	1.80	5.00	8,000	6,500	17
008	むつ市	8.01	/	21,700	34,900	65	3.01	/	8,300	13,300	20	3.04	/	20,900	/	17
009	平内町	9.00	36.30	25,000	27,800	65	3.70	11.70	7,800	8,700	20	2.80	10.00	8,500	6,900	17
011	今別町	6.00	25.00	15,600	21,600	65	8.00	25.00	12,000	12,000	20	1.00	10.00	6,700	10,000	17
012	蓬田村	9.00	20.00	25,200	24,600	65	2.00	12.00	12,000	9,600	20	2.00	10.00	8,000	8,000	17
015	鎌ヶ沢町	8.60	40.00	25,000	28,000	65	3.00	13.00	8,400	7,800	20	2.40	12.80	9,200	5,500	17
017	深浦町	8.10	36.30	21,100	23,800	65	2.20	9.60	5,700	6,300	20	1.90	11.00	7,900	4,100	17
025	西目屋村	8.50	/	24,000	28,000	65	2.80	/	7,800	8,400	20	2.40	/	6,900	7,200	17
026	藤崎町	9.50	/	25,600	20,100	65	2.60	/	7,800	6,000	20	2.40	/	8,700	4,500	17
027	大鰐町	7.00	40.00	19,300	30,000	65	2.90	5.00	9,600	9,800	20	1.40	5.00	9,800	9,800	17
032	田舎館村	7.60	28.60	21,600	28,100	65	1.90	7.00	6,300	5,100	20	1.60	9.00	8,400	5,400	17
034	板柳町	7.40	46.00	24,900	24,500	65	3.30	19.60	10,100	8,800	20	1.95	12.30	9,000	6,500	17
036	中泊町	9.31	/	23,400	25,800	65	2.75	/	9,600	10,800	20	2.49	/	12,000	9,000	17
037	鶴田町	8.30	0.00	13,800	0	65	2.30	0.00	3,600	0	20	2.40	0.00	4,200	0	17
040	野辺地町	8.26	44.28	28,100	37,400	65	2.18	8.36	5,100	10,700	20	0.66	5.60	6,900	3,100	17
041	七戸町	7.00	32.00	26,000	29,000	65	2.00	10.00	8,000	6,000	20	1.75	8.00	9,000	7,000	17
044	六戸町	8.50	/	28,000	32,000	65	2.70	/	11,000	10,000	20	2.30	/	12,000	7,000	17
045	横浜町	8.10	38.00	25,200	37,800	65	2.40	2.00	8,400	6,000	20	1.56	5.50	8,100	4,800	17
047	東北町	6.80	40.00	27,000	35,000	65	2.50	10.00	7,200	9,300	20	1.50	10.00	12,100	8,900	17
050	六ヶ所村	6.00	30.00	22,000	35,000	65	2.00	6.00	7,400	8,900	20	1.60	7.50	8,800	6,000	17
053	大間町	8.00	40.00	22,000	38,000	65	2.00	/	8,000	/	20	1.44	/	13,500	/	17
054	東通村	8.00	30.00	26,000	30,000	65	2.60	10.00	5,000	5,000	20	2.60	/	12,000	/	17
055	風間浦村	8.00	/	24,000	37,200	65	1.80	/	9,600	/	20	2.00	/	13,200	/	17
056	佐井村	9.80	/	25,200	39,400	65	3.20	/	12,000	/	20	3.00	/	13,200	/	17
058	三戸町	7.80	/	28,000	23,800	65	2.80	/	10,200	8,400	20	2.50	/	11,700	6,400	17
059	五戸町	8.70	/	27,000	30,000	65	2.40	/	10,000	8,000	20	1.80	/	12,000	7,000	17
060	田子町	8.64	/	35,400	25,200	65	2.44	/	10,000	7,100	20	2.34	/	12,200	5,800	17
062	南郷町	8.60	/	16,400	29,000	65	1.80	/	8,000	8,000	20	1.80	/	12,000	7,000	17
063	階上町	6.40	39.90	26,800	20,400	65	2.70	22.10	11,200	7,900	20	2.40	20.90	14,900	7,700	17
067	新郷村	7.00	/	23,000	25,500	65	2.00	/	7,000	7,500	20	1.50	/	7,000	7,500	17
070	つがる市	6.10	26.30	24,600	26,800	65	2.37	7.70	7,200	8,400	20	2.26	4.00	9,000	6,600	17
071	外ヶ浜町	10.20	20.00	27,600	36,000	65	2.00	6.00	5,400	7,800	20	1.66	5.00	6,000	8,400	17
072	平川市	8.20	18.50	23,800	27,800	65	2.75	7.00	6,600	10,000	20	2.60	5.70	9,000	8,400	17
073	おいらせ町	6.30	38.00	27,200	32,200	65	1.90	9.20	7,600	9,300	20	1.60	8.20	9,200	8,200	17

案1～案5それぞれの所得階層別の引き下げ額

改定前

モデル 3人世帯	医療給付分		後期支援金分		介護納付金分		医療分	後期分	介護分
	平等割	均等割	平等割	均等割	平等割	均等割			
夫(43歳)	24,400	22,400	7,800	8,600	6,000	10,400	10.10%	3.60%	3.40%
妻(38歳)		22,400		8,600					
子(12歳)		22,400		8,600					
計	141,400								

※端数調整あり



案1	所得	(給与収入相当額)	軽減該当区分	応益割(軽減後)	応能割額	改定前保険料	改定後	減額幅
	0	55万以下	7割軽減	42,300	0	42,300	42,000	-300
	800,000	135万円	5割軽減	70,700	63,100	133,800	127,300	-6,500
	1,500,000	約226万円	2割軽減	113,000	183,000	296,000	277,900	-18,100
	3,000,000	430万円	-	141,400	439,300	580,700	538,400	-42,300
	4,500,000	約618万円	-	141,400	695,800	837,200	770,900	-66,300

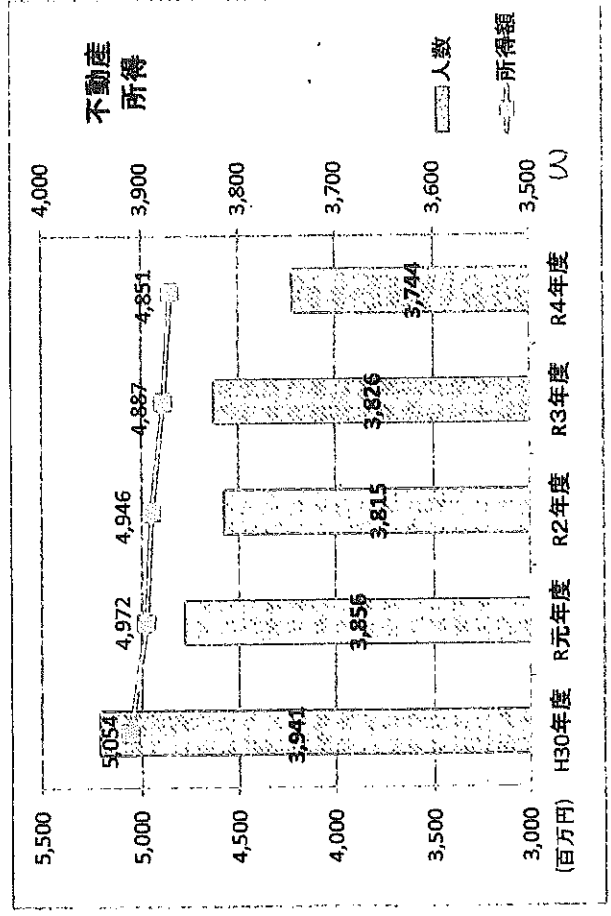
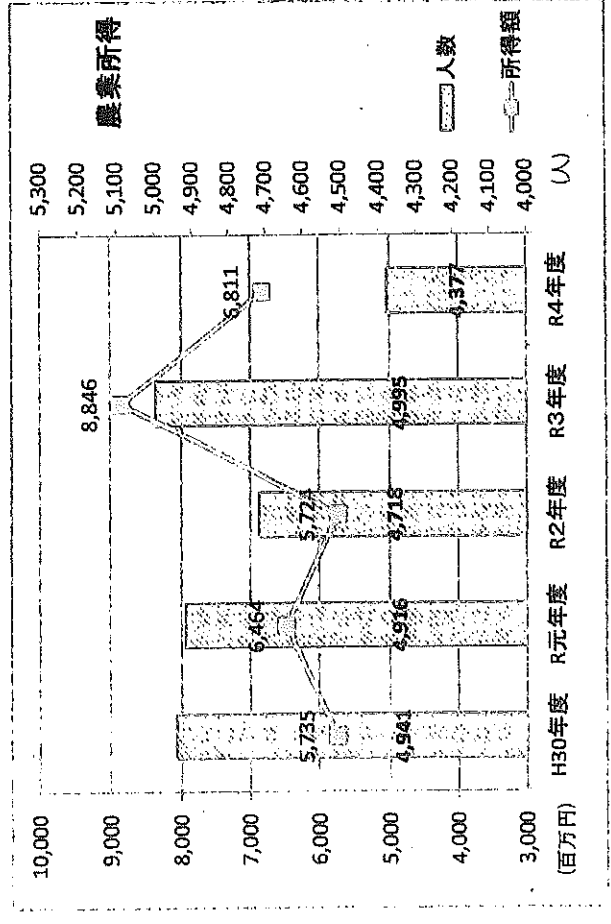
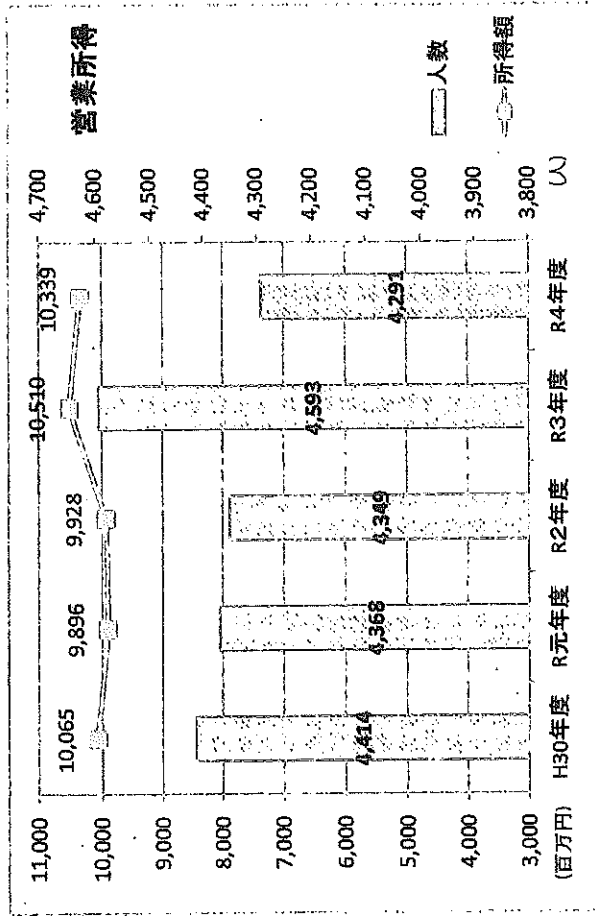
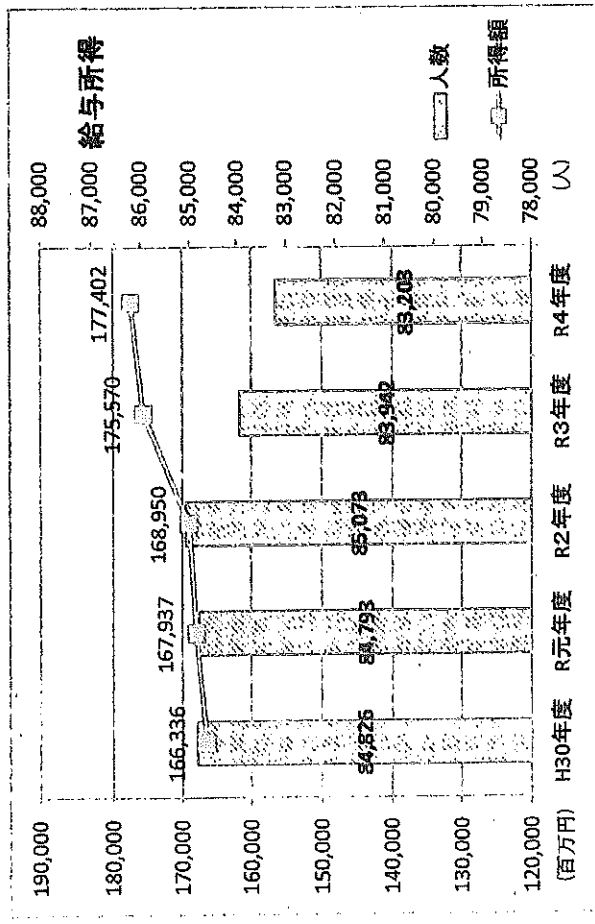
案2	所得	(給与収入相当額)	軽減該当区分	応益割(軽減後)	応能割額	改定前保険料	改定後	減額幅
	0	55万以下	7割軽減	42,300	0	42,300	41,900	-400
	800,000	135万円	5割軽減	70,700	63,100	133,800	126,900	-6,900
	1,500,000	約226万円	2割軽減	113,000	183,000	296,000	277,100	-18,900
	3,000,000	430万円	-	141,400	439,300	580,700	536,800	-43,900
	4,500,000	約618万円	-	141,400	695,800	837,200	768,500	-68,700

案3	所得	(給与収入相当額)	軽減該当区分	応益割(軽減後)	応能割額	改定前保険料	改定後	減額幅
	0	55万以下	7割軽減	42,300	0	42,300	41,800	-500
	800,000	135万円	5割軽減	70,700	63,100	133,800	126,600	-7,200
	1,500,000	約226万円	2割軽減	113,000	183,000	296,000	276,400	-19,600
	3,000,000	430万円	-	141,400	439,300	580,700	535,200	-45,500
	4,500,000	約618万円	-	141,400	695,800	837,200	766,200	-71,000

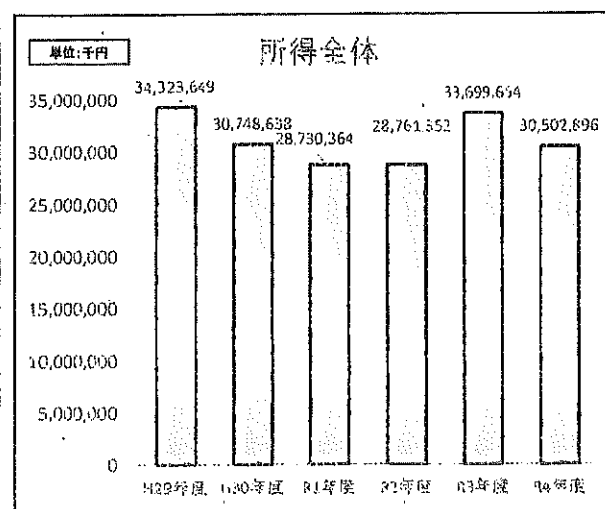
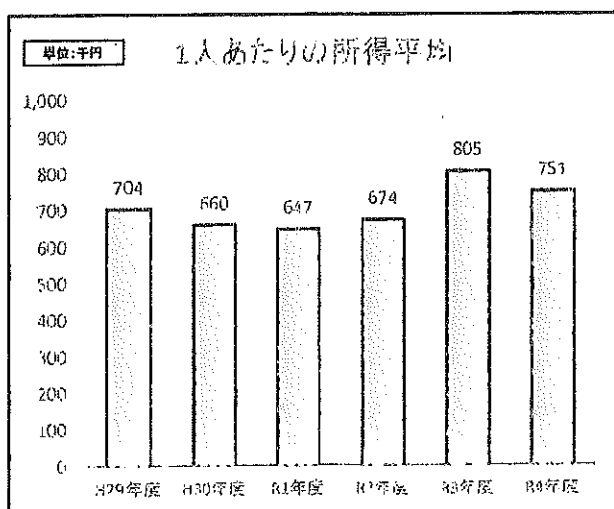
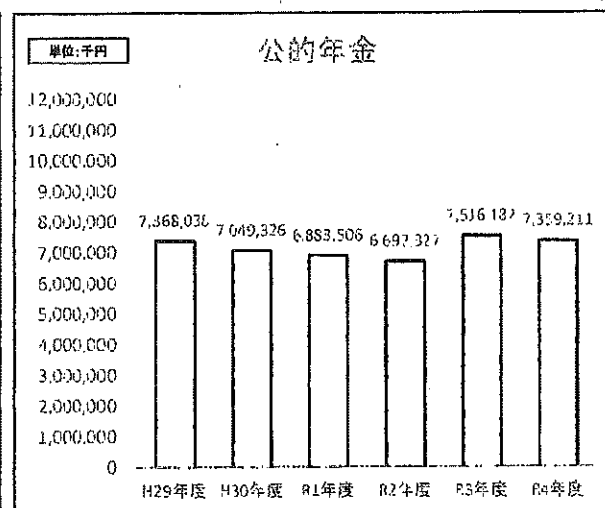
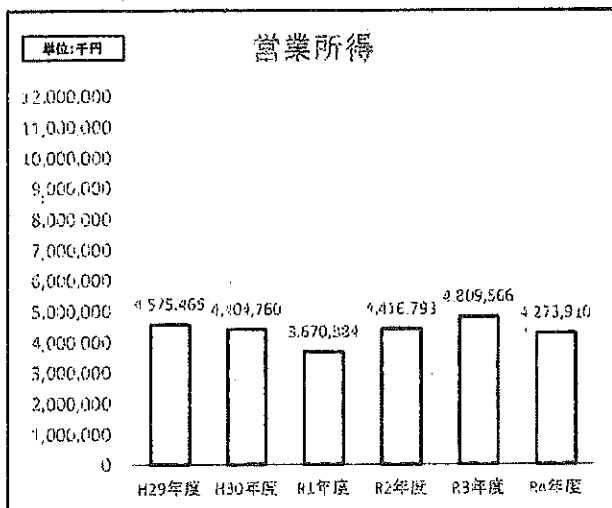
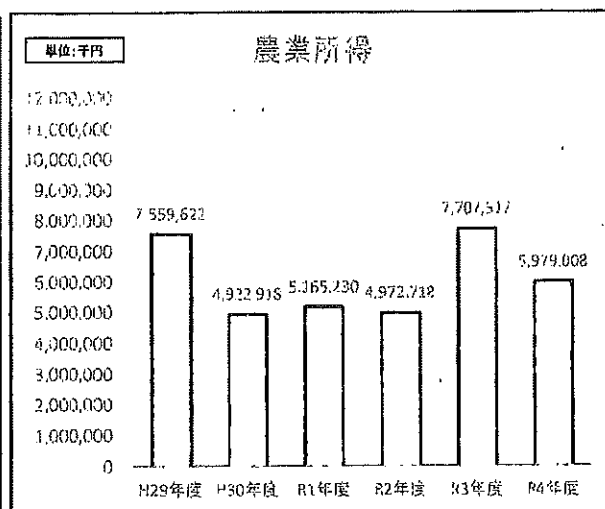
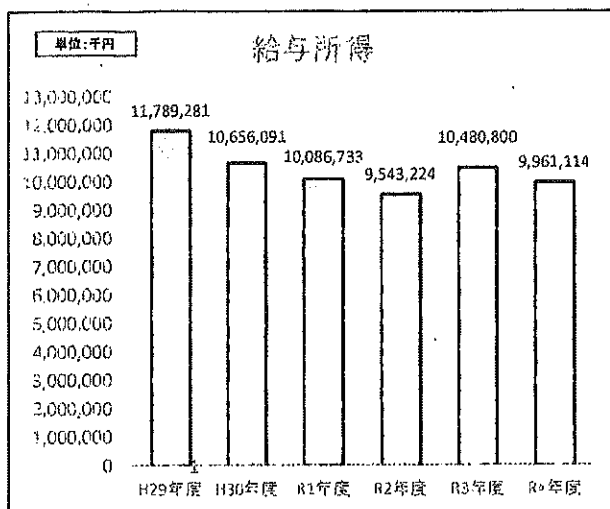
案4	所得	(給与収入相当額)	軽減該当区分	応益割(軽減後)	応能割額	改定前保険料	改定後	減額幅
	0	55万以下	7割軽減	42,300	0	42,300	41,600	-700
	800,000	135万円	5割軽減	70,700	63,100	133,800	125,900	-7,900
	1,500,000	約226万円	2割軽減	113,000	183,000	296,000	274,700	-21,300
	3,000,000	430万円	-	141,400	439,300	580,700	531,900	-48,800
	4,500,000	約618万円	-	141,400	695,800	837,200	761,400	-75,800

案5	所得	(給与収入相当額)	軽減該当区分	応益割(軽減後)	応能割額	改定前保険料	改定後	減額幅
	0	55万以下	7割軽減	42,300	0	42,300	41,400	-900
	800,000	135万円	5割軽減	70,700	63,100	133,800	125,200	-8,600
	1,500,000	約226万円	2割軽減	113,000	183,000	296,000	273,100	-22,900
	3,000,000	430万円	-	141,400	439,300	580,700	528,700	-52,000
	4,500,000	約618万円	-	141,400	695,800	837,200	756,700	-80,500

グラフで見る平成30年度から令和4年度までの各所得額の推移



当初賦課時点における国保加入者の所得別状況



令和3年度～5年度分の保険料額

所得段階	割合	保険料(年額)
第1段階 ・生活保護受給者の人 ・世帯全員が市町村民税非課税で、 老齢福祉年金受給者の人 ・世帯全員が市町村民税非課税で、 前年の課税年金収入額と合計所得金額 の合計が80万円以下の人	基準額×0.3	24,330円
第2段階 世帯全員が市町村民税非課税で、前 年の課税年金収入額と合計所得金額 の合計が80万円を超え120万円 以下の人	基準額×0.5	40,550円
第3段階 世帯全員が市町村民税非課税で、上 記以外の人	基準額×0.7	56,770円
第4段階 世帯の中に市町村民税課税者がいる が、本人は市町村民税非課税で前年 の課税年金収入額と合計所得金額の 合計が80万円以下の人	基準額×0.875	70,960円
第5段階 世帯の中に市町村民税課税者がいる が、本人は市町村民税非課税で上記 以外の人	基準額×1.0	81,090円
第6段階 本人が市町村民税課税で前年の合計 所得金額が125万円未満の人	基準額×1.125	91,230円
第7段階 本人が市町村民税課税で前年の合計 所得金額が125万円以上190万 円未満の人	基準額×1.25	101,370円
第8段階 本人が市町村民税課税で前年の合計 所得金額が190万円以上320万 円未満の人	基準額×1.5	121,640円
第9段階 本人が市町村民税課税で前年の合計 所得金額が320万円以上400万 円未満の人	基準額×1.7	137,860円
第10段階 本人が市町村民税課税で前年の合計 所得金額が400万円以上600万 円未満の人	基準額×2.0	162,180円
第11段階 本人が市町村民税課税で前年の合計 所得金額が600万円以上800万 円未満の人	基準額×2.1	170,290円
第12段階 本人が市町村民税課税で前年の合計 所得金額が800万円以上1000 万円未満の人	基準額×2.2	178,400円
第13段階 本人が市町村民税課税者で前年の合 計所得金額が1000万円以上の人	基準額×2.3	186,510円

## 子どもが生まれたときは

国保の被保険者が出産した場合（妊娠12週以上の流産・死産含む）、出産育児一時金が支給されます。原則として、国保から医療機関へ直接支払う「直接払い制度」が導入されており、出産費用を事前に準備する必要はありません。医療機関にてお手続きください。

なお、「直接払い制度」を利用しない場合は、医療機関へ全額支払ってから、出産育児一時金を国保年金課・岩木総合支所民生課・相馬総合支所民生課の窓口でお手続きください。※他の健康保険から支給される場合は、国保から支給されません。

## あとで払い戻されるもの

- 次のような場合は、療養費としてあとで払い戻しを受けられます。
- ① やむを得ない理由で保険証を持たずに診療を受けたとき
  - ② 医師が治療上必要と認められたコルセットなどの補装具代
  - ③ 一時的な海外滞在中にやむを得ない理由で診療を受けたとき
  - ④ その他他生血代や医師が必要と認められた場合の移送費等

## 医療費一部負担金の減免について

国保加入者が、災害や失業、新型コロナウイルス感染症の影響など特別な事情で一時的に生活が困難し、医療機関への医療費一部負担金の支払いが困難な場合、支払いが軽減されます。

## 死亡したとき

国保加入者が亡くなったとき、葬祭を行ったかた（喪主）に葬祭費として5万円を支給します。

## 健診を受診しましょう【令和4年度の実施期間：令和5年3月15日まで】

### 国保特定健康診査は無料で実施しています。

【目的】生活習慣病の予防、早期発見・早期治療

【対象者】昭和22年4月26日から昭和58年3月31日までに生まれたかた  
（ただし、75歳の誕生日前までのかた。75歳を迎えたかたは後期高齢者健康診査の対象となります）

【健診項目】身体計測、血圧、血中脂質、肝機能、血糖、尿、貧血、心電図、眼底検査（医師が必要と認めた場合）

【健診場所】は「令和4年度健康と福祉ごよみ」をご覧ください。

【自己負担額】無料。約1万円かかる検査を無料で実施しています。

【注意事項】他の健康保険への加入手続き中のかたは、その間は受診しないでください。約1万円の費用が自己負担となる場合があります。

【受診券】に関するお問い合わせ（再発行など）は、国保健康事業係（☎35-1116）まで

後期高齢者のかたも無料で健康診査を実施しています。

【受診券】に関するお問い合わせ（再発行など）は、後期高齢者医療係（☎40-7046）まで

国民健康保険料は、皆さんが病気のときに安心して治療を受けられるための大切な財源です。

弘前市の国保加入者  
(令和4年5月31日現在)

世帯数……25,155世帯  
加入者……39,172人

発行・掲載/弘前市健康子ども政策推進課 〒036-8551 弘前市大字上白根町1-1 ☎0172-35-1111 内線206 <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>



# こくほ 特集号

## 令和4年度の保険料

区分	①国民健康保険の医療給付費分	②後期高齢者支援金分	40歳以上の加入者がいない世帯の合計医療費額	③介護納付金分 ※40歳以上の加入者にかたご医療費	合計額 (黒高額)
平等割 (一若年あたり)	24,400円	7,600円	32,000円	6,000円	38,000円
均等割 (高齢者一人あたり)	22,400円	8,600円	31,000円	10,400円	41,400円
所得割 (令和3年1月～12月の所得に応じて算定)	10.1%	3.6%	13.7%	3.4%	17.1%
賦課限度額	650,000円	200,000円	850,000円	170,000円	1,020,000円

※令和4年度は賦課限度額の医療給付費分を63万円から65万円に2万円、後期高齢者支援金分を19万円から20万円に1万円引き上げる改定を行いました。なお、平等割・均等割・所得割の率は令和3年度と同じ基準です。

## 軽減判定所得基準

保険料のうち平等割・均等割については、所得額により段階的に軽減する制度があります。令和4年度の軽減判定所得基準は令和3年度と変更ありません。軽減制度が適用されるのは世帯主及び国民健康保険の加入者全員が申告をしている世帯に限られます。

なお、納入通知書又は明細書の5ページで軽減割合の適用区分を、9ページで申告の状況を確認できます。

軽減割合	令和4年度の基準
7割軽減	被保険者の合計所得が43万円+10万円×(給与所得者等の数-1)以下の場合
5割軽減	被保険者の合計所得が43万円+被保険者×28万5千円+10万円×(給与所得者等の数-1)以下の場合
2割軽減	被保険者の合計所得が43万円+被保険者×52万円+10万円×(給与所得者等の数-1)以下の場合

## 国保の保険証が変わります

令和4年8月1日～

水色

桃色

新しい保険証は7月中旬頃から普通郵便にて郵送します。

以前70歳から74歳のかたに発行していた「高齢受給者証」は平成30年度から保険証と一体化しています。

### 傷病手当金の支給(新型コロナウイルス感染症対策)

新型コロナウイルス感染症に感染した又は発熱等感染が疑われる症状で勤務ができないうことにより、給与等の全部又は一部の支払いを受けられなかった場合に傷病手当金を支給します。

対象者	給与収入等を得ている国民健康保険加入者であって、新型コロナウイルス感染症に感染した又は発熱等感染が疑われる症状で勤務ができないうことにより、給与等の全部又は一部の支払いを受けられなかったが、
対象期間	令和5年3月31日(令和4年度末)まで ※傷病手当金の支給対象期間は延長となり、今年度末までとなっています。ただし、2年以上経過した期間については時効となり、申請することができなくなりますので、ご注意ください。
支給額	直近3か月の給与収入等合計/就労日数×2/3×休業日数(4日目から) ※限度額あり。一部支給を受けている場合はその額を除いた額。

【傷病手当金】に関するお問い合わせは、国民健康保険(☎40-7047)まで

### 国民健康保険料の減免(新型コロナウイルス感染症対策)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯などに対し、国民健康保険料の減免の申請を受けます。

対象世帯	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者が死亡又は重篤な傷病を負った世帯</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入等(専業収入、不動産収入、山林収入又は給与収入)の減少が見込まれ、次のア)イ)ウ)全てに該当する世帯</p> <p>ア) 専業収入等(※保険金、損害賠償等)により補填されるべき金額を控除した額)のいずれかの減少額が前年の当該事業収入等の3割以上減少していること。</p> <p>イ) 前年の総所得金額及び山林所得金額等の合計額が1,000万円以下であること。</p> <p>ウ) 減少することが見込まれる事業収入等に係る所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること。</p>
------	--

減免額	国民健康保険料×世帯の主たる生計維持者の減少が見込まれる事業収入等の前年所得×減免割合												
減免割合算定表	<table border="1"> <tr> <th>前年の合計所得金額</th> <th>減免又は免除の割合</th> </tr> <tr> <td>300万円以下であるとき</td> <td>全部</td> </tr> <tr> <td>400万円以下であるとき</td> <td>10分の8</td> </tr> <tr> <td>550万円以下であるとき</td> <td>10分の6</td> </tr> <tr> <td>750万円以下であるとき</td> <td>10分の4</td> </tr> <tr> <td>1,000万円以下であるとき</td> <td>10分の2</td> </tr> </table>	前年の合計所得金額	減免又は免除の割合	300万円以下であるとき	全部	400万円以下であるとき	10分の8	550万円以下であるとき	10分の6	750万円以下であるとき	10分の4	1,000万円以下であるとき	10分の2
前年の合計所得金額	減免又は免除の割合												
300万円以下であるとき	全部												
400万円以下であるとき	10分の8												
550万円以下であるとき	10分の6												
750万円以下であるとき	10分の4												
1,000万円以下であるとき	10分の2												

【国民健康保険料の減免】に関するお問い合わせは、国民健康保険係(☎40-7045)まで

### 高額な医療費がかかる前に限度額適用認定証の交付申請を

限度額適用認定証は保険適用分の医療費負担が限度額(ひと月ごと)までとなり、入院・外来において医療機関ごとに適用されます。また、市民税非課税世帯のかたは、入院時食事代も減額されます。

【限度額認定証の交付申請に必要なもの】保険証  
※なお、3ページの表の70歳以上の現役並みⅢと一般の区分のかたは、窓口での医療費負担の上限が適用されるため申請する必要はありません。

【高額療養費】に関するお問い合わせは、国民健康保険係(☎40-7047)まで

### 医療費が高額になったとき(高額療養費)

医療費負担が高額となり、同じ月内で下記の自己負担限度額を超えた場合、申請により支払った医療費と限度額との差額が、高額療養費として支給されます。

70歳未満のかたの自己負担限度額(月額)

所得区分	3回目まで	4回目以降
所得 901万円超	ア 252,600円+(実際にかった医療費-842,000円)×1%	140,100円
所得 600万円超901万円以下	イ 167,400円+(実際にかった医療費-558,000円)×1%	93,000円
所得 210万円超600万円以下	ロ 80,100円+(実際にかった医療費-267,000円)×1%	44,400円
所得 210万円以下	ハ 57,600円	44,400円
市民税非課税世帯	ニ 35,400円	24,600円

70歳以上のかたの自己負担限度額(月額)

所得区分	外来(個人単位)	外来+入院(世帯単位)
現役並みⅡ	252,600円+(実際にかった医療費-842,000円)×1%	140,100円
現役並みⅠ	167,400円+(実際にかった医療費-558,000円)×1%	93,000円
現役並みⅢ	80,100円+(実際にかった医療費-267,000円)×1%	44,400円
一般	18,000円[年間上限 144,000円]	57,600円 24,600円
所得者(市民税非課税世帯)	8,000円	15,000円

届出が必要なき ~届出は14日以内に~

国民健康保険に入るとき 職場の健康保険をやめたとき (被扶養者から外れたとき)	国民健康保険をやめるとき 職場の健康保険に加入したとき (被扶養者になったとき)
<p>必要なもの</p> <p>①~③のいずれか</p> <p>①健康保険の資格喪失証明書</p> <p>②離職票</p> <p>③雇用保険受給資格者証</p>	<p>必要なもの</p> <p>・職場の健康保険証または健康保険加入を証明するもの</p> <p>・国民健康保険の保険証(回収します)</p>
<p>弘前市に転入したとき</p> <p>子どもが生まれたとき</p>	<p>弘前市外に転出するとき</p> <p>死亡したとき</p>
<p>必要なもの</p> <p>・前住地からの転出証明書またはマイナンバーカード(市民課での転入届に必要)</p> <p>・保険証</p>	<p>必要なもの</p> <p>・死亡を証明するもの(印鑑(市民課での死亡届に必要))</p> <p>・保険証</p>

○要るとき、保険証をお持ちください。

○届出に必要なもの

- ア) 本人による申請の場合：届出受付時の身分証明書または保険証(同一住所による申請の場合：届出受付時の身分証明書または保険証)又は(ア)の本人確認写真を所持する場合は、窓口で申請書の提出を行います。お持ちでない場合は、申請書に写真貼付し、窓口で申請書を提出します。
- イ) 本人による申請の場合：届出受付時の身分証明書または保険証(同一住所による申請の場合：届出受付時の身分証明書または保険証)又は(イ)の本人確認写真を所持する場合は、窓口で申請書の提出を行います。お持ちでない場合は、申請書に写真貼付し、窓口で申請書を提出します。

住所・氏名・世帯主などが変わったとき  
保険証などをなくした、汚したとき  
(保険証の再発行)

上記のほかマイナンバーのわかるものが必要です。また延滞料1000円徴収額は、届出時延滞料の交付を認めている場合は、それらもお持ちください。

【保険料、保険証など】に関するお問い合わせは、国民健康保険係(☎40-7045)まで

※ 弘前市の関係加入期間以外には弘前市の保険証を使用することはできません。転出後や社会保険への移行後、加入期間以外に保険証を使用したい場合は、後で医療費等の返還をしていただくことがありますがご注意ください。



# 2022年度中央社保協第3回運営委員会 議題

2022年11月2日(水) 13時半～ オンライン会議

## 【出席確認】

### ○運営委員

白沢<山崎>(障全協)、日野(新婦人)、今井<宇野>(全商連)、西野(全生連)  
藤原(農民連)、民谷(福祉保育労)、村田(全教)、木田(年金者組合)  
五十嵐(医労連)、曾根(保団連)、梅津(共産党)、中本(国公労連)  
青池(自治労連)、山之内(医療福祉生協連)、久保田(民医連) ( ) 建交労

沢野(北海道)、高橋(宮城)、川嶋(埼玉)、藤田(千葉)、窪田(東京)  
根本(神奈川)、藤牧(石川)、小松(愛知)、寺内(大阪)、楠藤(徳島)  
日高(鹿児島)

### ○事務局

林・大嶋(事務局)、上所(保団連)、山本(民医連)、香月(全労連)

## <報告事項>

別冊 活動日誌参照(資料集①).....P.01

## <トピックス>

別冊 ニュース参照(資料集② 目次参照)

■ 団体・各地からのトピックス

## <報告・確認事項>

1. 75歳以上医療費窓口負担2割化反対のたたかい.....P.02

① 75歳以上医療費2倍化に抗議するデモ→当日124名参加

② 日本高齢期運動連絡会による生活と意識調査

③ 保団連・民医連でのアンケート調査

④ 4団体打ち合わせ

- 現行の請願項目のまま、請願趣旨を情勢に合わせ、署名を積み上げていく方向。
- 11月16日に次回の4団体での打ち合わせ、そこまでに請願趣旨の修正を行う。
- 共同での記者会見なども年内に実施する方向。

2. 介護改悪ストップのたたかい.....P.20

① 全国介護学習交流集会について→参加284名、参加者より感想を簡潔に

② 介護・認知症なんでも無料電話相談について

- 30県35ヵ所で実施、NHKが今年も取材に入る予定。
- 11月1日に厚生労働記者クラブ・日比谷クラブ・都庁記者クラブに投げ込み
- 11月12日までに集約表を中央社保協まで、相談内容については11月18日ま

でに集約を中央社保協まで

③ 介護署名提出行動について

- 署名集約・・・11月14日(月)までに中央社保協へ
- 署名提出行動：11月22日(火)12時から13時で国会内集会

3. 国保改善に向けたたたかい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.25

① 国保改善運動学習交流集会

- 12月11日(日)13:00～16:30
- 日本医療労働会館2F・オンラインにて開催
- 申込みは12月5日(月)13時まで(専用フォームより申し込み)
  - ZOOM情報などは登録されたメールアドレスに自動で送信されます。
  - 待合室を有効化し、登録した方のみ入場できるようにします。

②

4. 子ども医療全国ネット国会内集会・新署名の取り組み・・・・・・・・・・P.27

- 子ども医療全国ネット国会内集会・・・153名参加・100万筆を目指す。

5. 保険証のマイナンバー一体化反対のたたかい・・・・・・・・・・・・・・・・P.31

① 10.26 臨時拡大事務局会議・・・オンライン署名11万筆

② マイナンバーカード取得の強制・健康保険証の廃止 オンライン資格確認システムの導入の原則義務化反対 緊急・院内集会

- 主催：保団連・マイナンバー制度連絡会・共通番号いらないネット
- 11月17日(木)12:30～14:30
- 衆議院第2議員会館 1階多目的会議室

③ 保険証を廃止して、マイナンバーカードに一本化することに反対する緊急デモ  
12月3日サウンドデモ

④ 3省庁交渉「現行署名をここに集約」

2022年12月6日(火)14:00～

衆議院第2議員会館 地下一階第4会議室

【要請内容】

健康保険証廃止阻止・マイナンバーカード強制阻止・オンライン資格確認原則義務化阻止

6. 地域医療を守る運動全国交流集会について・・・・・・・・・・・・・・・・P.35

- 参加・視聴のお願い

7. 社会保障誌について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.41

- 505号(冬号)、506号(新春号)、507号(春号)原稿と台割表など

## <協議事項>

1. 新しいのち署名以降の署名について・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.43

- ① いのちくらし社会保障を立て直せ一斉行動実行委員会での議論
- ② 新署名について・・・中央社保協の署名として協議

### 請願項目（案）

1. 格差と貧困をなくすため、社会保障の維持・発展が不可欠です。そのために大企業と富裕層への課税を強化し、所得再分配を機能させる公正な社会を目指すこと。
2. （医療・介護・福祉・年金・教育・子育て・生活保護など）社会保障予算の国庫負担を増やし、社会保障に係る国民負担の軽減を目指すため、軍拡ではなく軍縮を目指すこと。

### ■ 代表委員会で出された意見

- ・すべての国民が大切にされる
- ・軍事費ではなく、
- ・コロナ以前からの社会保障費の抑制で、ボロボロになっている社会を転換させる
- ・2023年の1年は、同時改定に向けて社会保障運動は大事な1年になる

### ③ テンポ・通常国会でのたたかいを見越して

- 11月代表委員会で大枠を提案・12月運営委員会で提案（各団体・地域で持ち帰り）
- 12月代表委員会までに意見集約・代表委員会で協議・確認
- 1月運営委員会で協議・確認
- 2月代表者会議にてスタート・行動提起のテンポではどうか？

2. 代表者会議に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・なし

### ① 開催日について 2月8日（水）で再提起

### ② 内容について（昨年スケジュールを参考に）

10:30 開会あいさつ・来賓あいさつ

11:00 基調報告（事務局長）

11:30 新署名提起・行動提起（代表委員）

11:45 昼休憩

12:45 全体討論（10人×5分）

13:35 休憩

13:45 グループ討論（ブレイクアウトルーム90分）運営委員は座長を担当

15:15 討論のまとめ（事務局長）

15:30 閉会あいさつ

### ③ 代表者会議での資料

- 加盟団体・各県社保協の連絡先（電話・メール・住所・事務局長など）
- 加盟団体・各県社保協の資料
- 第50回中央社保学校 第1報（開催日、概要など）

④ 開催に向けてのテンポについて

- 1 1月運営委員会にてスケジュールの確認
- 1 1月16日以降に、加盟団体・各県社保協へ案内通知
- 1 1月代表委員会にて基調報告の大枠の確認・役割分担
- 1 2月運営委員会にて基調報告の大枠の確認・役割分担・発言者依頼
- 1 2月代表者会議にて基調報告・行動提起の確認
- 1 月運営委員会にて基調報告・行動提起の事前提起（加盟団体・各県社保協で持ち帰り）

3. 学習運動の推進について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.47

※ 総会方針より

(5) 社保協運動強化の課題

① 学習運動の推進

1. 全国的な学習運動 オンライン講座の開催を検討します。当面憲法特集号のオンライン講座を計画します。社会保障誌 入門テキスト等の活用で、憲法、社会保障についての学習、宣伝運動を強化します。ホームページを引き続き活用し、団体、各県社保協の学習会等の情報を発信します。ホームページの活用と情報の収集も呼びかけ、SNSを活用した情報発信の充実についても検討します。

- 1月以降の連続学習会の提案について  
総会方針の具体化をしていくために

その他

● 第5回いのちとくらしを守る税研集会

[開催日] 2023年1月28日(土)と29日(日) [会場] 東京土建本部会館

※ 昨年に引き続き、中央社保協から住江代表委員に集会実行委員長

※ 社会保障分科会を担当の要請あり。

今後の予定

- 10月30日(日) 全国介護学習交流集会
- 11月01日(月) 厚労省・都庁記者クラブ投げ込み
- 11月02日(水) 介護認知症なんでも電話相談接続テスト  
介護障害者部会  
運営委員会
- 11月03日(木) 11・3憲法大行動

- 11月07日(月) 25条共同行動実行委員会
- 11月11日(金) 介護・認知症なんでも無料電話相談
- 11月14日(月) 巢鴨宣伝
- 11月21日(月) 国保部会
- 11月23日(水) 地域医療守る全国運動交流集会
- 11月23日(水)～24日(木) 日本高齢者大会
- 11月25日(金) 25条の日宣伝
- 12月07日(水) 運営委員会
- 12月11日(日) 国保改善運動交流学習集会
- 02月01日(水) 全国代表者会議(あくまでも予定)

◆2022年度運営委員会日程(第一水曜日を基本)

1月11日(年末年始のため第二水曜日)、2月1日(全国代表者会議検討)、3月1日、4月5日、5月10日(大型連休のため第二水曜日)、6月7日、7月5日(全国総会検討)

◆代表委員会日程について

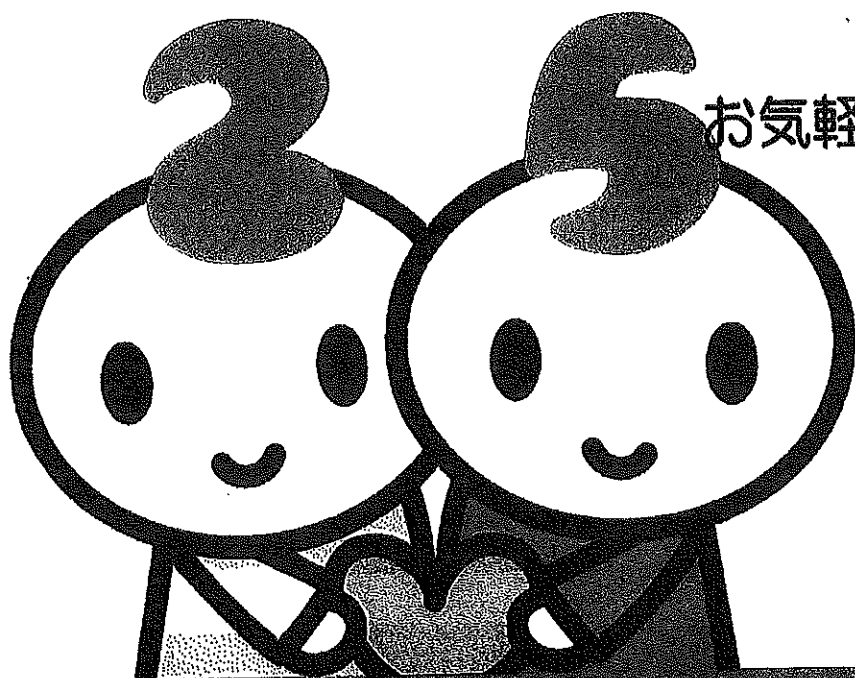
運営委員会日程(第一水曜日)前の第4週の水曜日、もしくは金曜日に設定。

18時からオンライン開催を基本。

11月の代表委員会、11月30日(水)

12月の代表委員会、12月23日(金)か、12月28日(水)ではどうか

介護・認知症なんでも無料電話相談



お気軽に相談ください

ひとりで抱え込まないで

相談することで心がふっと軽くなりますよ

介護・認知症なんでも無料電話相談には、介護の専門家が対応します。プライバシーは厳守します。

① 2022年11月11日(金) 10時~18時

でんわ

0120-110-458

中央社会保障推進協議会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本労働会館5階

TEL.03-5808-5344 FAX.03-5808-5345

公益社団法人 認知症の人と家族の会

〒602-8222 京都市上京区明町町 811-3 岡部ビル2階

TEL.050-5358-6580 FAX.075-205-5104

取り扱い団体

E-mail:k26@shahokyo.jp

※メールでの相談は左記の「アドレス」をご利用下さい。

## 「介護・認知症なんでも無料電話相談」にご協力を頂くにあたってのご連絡(案)

中央社会保障推進協議会  
事務局長 林 信悟

この度は、標記電話相談にご協力を頂き本当にありがとうございます。  
各県社保協並びに相談員の皆様へのご連絡です。

### 1. 第12回目となる電話相談です。

- ① 日程：2022年11月11日(金)10時～18時
- ② 主催：中央社保協、東京社保協、認知症の人と家族の会
- ③ 参加都道府県：29都道府県で電話窓口を設けて相談を受け付けます。

北海道、青森、岩手、秋田、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、富山、長野、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、鳥取、島根、岡山、広島、山口、高知、宮崎、鹿児島

### 2. 電話相談を行う目的

- ① コロナ禍での介護現場がおかれた状況は過酷の一言です。通所介護系を中心に打撃が大きく、在宅介護での困難を抱える利用者・家族がまだまだおられるものと考えられます。また、介護施設でも面会制限などもあり介護サービスへの不安も大きく、相談先を待っている多くの方がおられるものと思います。皆さんの思いや願い・悩みに寄り添う取り組みにしていきたいと考えています。
- ② このような、利用者・家族、介護従事者などより多くの相談事例を元に、介護改善運動につなげていくことが求められています。特に、11月22日の署名提出行動や各県・市町村との懇談や自治体キャラバン等で要望を提出し、要求実現・問題解決につなげていきたいと思っています。

### 3. 相談内容、相談対応について

- ① 電話相談の多くは、現在、自宅で介護をされている家族からの相談、施設先の介護の状況に対する相談が多くを占めます。中には、介護保険の申請方法など利用方法の相談もあります。
- ① 相談内容については、別紙の2021年の「介護認知症なんでも無料電話相談のまとめ」(「社会保障」No501号)を参照してください。  
分類としては、介護保険制度に関する相談、サービス内容に関する相談、家族の介護方法や家族関係での悩みなどに関する相談が多数を占めます。中には介護従事者からの相談もあります。家族関係や家族介護の方法など中心に「認知症」に関連すると思われる相談が4割近くあるとともに、特に介護施設の対応などコロナ禍での相談が約2割程度ありました。
- ② 相談の対応としては、まずは良く「傾聴」することが重要だとの感想が相談員の皆さんから寄せられています。  
また、相談に対する回答の傾向としては、当然のことではありますが電話で全てを解決す

ることは難しく、地域包括支援センターなどの制度紹介、行政への相談方法なども含めて具体的な相談先や解決をする手段を伝えることが多いようです。

- ・ さらに、「電話で話せたので今後も介護を続けていける」など電話で聞いてもらえることで気持ちも落ち着いて整理できていく場合もある様です。

- ③ できれば相談員間で経験交流をする時間もとりたいと思いますが、事務局の方でも相談状況のお話も随時間きながら進めたいと思っていますので気軽に声をかけて下さい。

#### 4. 実務的な連絡

##### ① 電話の最初の応答の例

- ・ 「こんにちは介護(認知症なんでも無料)電話相談です」「今日は、どのようなご相談ですか」
- ・ 相談員(ご自身)のお名前は、特に名乗る必要はありません。

##### ② 電話相談の記録

- ・ 「相談記録用紙」を使い相談内容の要点をメモして下さい。
- ・ その内容を事務局の方で「相談集約表」(Excel)に入力していきます。

#### 5. 相談集約表について・・・各都道府県社保協宛

- ① 各県社保協へ・・・黄色の部分は、11月11日中に書き込み中央社保協へメールで送付してください。12日に集約し概要を報道機関に配信します。
- ② 相談内容・助言内容の集約は、11月18日(金)までに送付して下さい。
- ③ 送り先：[k25@shahokyo.jp](mailto:k25@shahokyo.jp) 中央社保協

#### 6. その他

当日の緊急連絡先 090-8505-3807 (中央社保協・大嶋)



	県名	2021依頼書	2022依頼書	時間帯(時)	電話回線数	電話番号
1	北海道-1	●	●	10:00~18:00	3	011-708-1515
2	北海道-2		●	10:00~16:00	1	01-651-1154
3	青森県		●	10:00~18:00	2	
4	岩手県	●	●	10:00~17:00	2	019-654-1669
5	宮城県					
6	秋田県	●	●	10:00~16:00	1	018-835-6354
7	山形県					
8	福島県					
9	茨城県					
10	栃木県					
11	群馬県					
12	埼玉県-1	●	●	10:00~16:00	2	048-865-0473
13	埼玉県-2	●	●	10:00~16:00	2	048-814-1210
14	千葉県	●	●	10:00~18:00	2	043-215-8202
15	東京都	●	●	10:00~18:00	8	03-5395-3165
16	神奈川県-1	●	●	10:00~17:00	2	045-534-3477
17	神奈川県-2		●	10:00~16:00	1	045-201-3900
18	山梨県	●	●	10:00~17:00	1	055-222-5882
19	新潟県		●	10:00~16:00	1	025-225-0322
20	石川県					
21	富山県		●	10:00~18:00	1	
22	福井県					
23	長野県		●	10:00~16:00	3	026-223-1683
24	静岡県	●	●	10:00~16:00	1	055-928-5002
25	愛知県	●	●	10:00~17:00	4	052-872-6800
26	岐阜県	●	●	10:00~18:00	2	
27	三重県	●	●	10:00~17:00	1	059-253-1360
28	滋賀県-1	●	●	10:00~18:00	1	077-521-2536
29	滋賀県-2			10:00~18:00	1	077-521-2537
30	京都府	●	●	10:00~18:00	6	
31	大阪府	●	●	10:00~18:00	5	06-6267-8050
32	兵庫県	●	●	10:00~16:00	2	078-335-3770
33	奈良県		●	10:00~18:00	1	0744-21-3104
34	和歌山県					
35	鳥取県	●	●	10:00~18:00	1	0857-37-0317
36	島根県		●	10:00~17:00	1	0852-27-8991
37	島根県		●	10:00~17:00	1	0853-25-7538
38	岡山県		●	10:00~16:00	2	
39	広島県	●	●	10:00~18:00	2	082-262-2099
40	山口県	●	●	10:00~18:00	1	0836-33-6225
41	香川県	●				
42	徳島県					
43	愛媛県					
44	高知県	●	●	10:00~16:00	2	088-843-0025
45	福岡県					
46	佐賀県					
47	大分県					
48	宮崎県	●	●	10:00~16:00	2	0985-64-9769
49	熊本県					
50	鹿児島県-1	●	●	10:00~18:00	2	099-219-1765
51	鹿児島県-2		●	10:00~18:00	1	099-227-0777
52	沖縄県					
	参加県数	20	29			
	総合計	24	34		71	

2022「介護・認知症なんでも無料電話相談」

相談員氏名(団体名) 五石理(五石)

2022年11月11日(土)時(20)分～(21)時(40)分

相談者:  本人  家族  知人・友人  不明 性別:  男  女  不明 都道府県 秋田

年代:  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代  80代  90代以上  不明

何で知りましたか……  新聞  テレビ  ラジオ  チラシ  インターネット  知人  その他( )

相談内容  制度・保険料など ①保険料 ②申請方法 ③認定結果 ④利用者負担 ⑤その他

該当に○印  サービス内容 ①ケアマネ ②ペルパー ③通所 ④施設 ⑤利用制限 ⑦総合事業 ⑧その他

家族の問題 ①介護疲れ ②生活苦 ③介護方法 ④その他

労働問題 ①賃金 ②労働条件 ③業務内容 ④その他

相談内容の関連性 ①認知症 ②コロナ

その他

◆相談内容

NHKのニュースを見こ。  
娘とんち。9才の母は2人相談。6才の弟は1人相談。1人相談の薬はお薬作り作印で。  
幻覚症状、夜間の徘徊、おこ歩み外に出まなせ、おんつや区は相談、薬で今は  
寝てつる。週一のペースに通って来たが、母が行きつくと。理由は風俗に入りたくた  
たせ、と院に「おまかしく「周りに笑われ」から。娘は母は、体を歩みおこいおまかた。おまかた  
してらる。おれども全く風俗に入らぬのは、清潔(不衛生)を体におまかた。どうしてならぬか、他人は  
どう

◆相談・助言内容 (看護職判の助言)

入浴1ヶ月程度は未決です。介護士さんに見てもらい。入浴のペースはDサービスの方と相談して頂く。

※この記録用紙は各県社保協で活用して下さい。報告は、別表「相談集約表」(Excel)に記入し中央社保協へ送付して下さい。

② 2022「介護・認知症なんでも無料電話相談」

相談員氏名(団体名) 香森長次郎 菊池

2022年11月11日(12)時(30)分~(12)時(50)分

相談者:  本人  家族  知人・友人  不明 性別:  男  女  不明 都道府県 岩手県

年代:  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代  80代  90代以上  不明

何で知りましたか...:  新聞  テレビ  ラジオ  チラシ  インターネット  知人  その他(登録タイプ: )

相談内容  制度・保険料など  保険料  申請方法  認定結果  利用者負担  その他

該当に○印  サービス内容  ケアマネ  ペルパー  通所  施設  利用制限  総合事業  その他 (配食等)

家族の問題  介護疲れ  生活苦  介護方法  その他

労働問題  賃金  労働条件  業務内容  その他

相談内容の関連性  認知症  コロナ

その他

◆相談内容

、紫波町の持ち家で 80代の両親2人暮らし。両親ともに認知症で要介護2。金銭管理できず、支出の詳細が分からず、近所からもお金かかっているよう。隣宅が自営店を営むので炭酸飲料ばかり購入している。よく隣の自営店主から連絡している。認知症の進行で意思疎通がとれにくくなっている。食事の準備が難しい。デイサービス(1回/W)ハルパー1回/W 30分(ゴミ処理と一緒)入っている。配食は1回/W。デイサービスは母が主体的、ハルパーは子居ぎみ。1回お父居確認とコミュニケーション。

◆相談・助言内容

金銭管理について  
長男様の関わりを増やせば、難しい場合は(拒否強い場合は)成年後見制度の導入を。  
食事について  
<sup>狭小</sup> 社協の配食サービスの回数を増やす検討を。おとく町の生活支援サービスを利用しており、金銭支援が  
あると思う。民間の配食事業者の検索もして頂くがよい。(拒否に上校のため)

※この記録用紙は各県社保協で活用して下さい。報告は、別表「相談集約表」(Excel)に記入し中央社保協へ送付して下さい。

2022「介護・認知症なんでも無料電話相談」

相談員氏名(団体名) 小倉 大幸 (青森県厚志町)

2022年11月11日(月)時(52)分~(73)時(52)分

相談者:  本人  家族  知人・友人  不明 性別:  男  女  不明 都道府県: 不明

年代:  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代  80代  90代以上 不明

何で知りましたか...:  新聞  テレビ  ラジオ  チャシ  インターネット  知人  その他 ( )

相談内容  制度・保険料など ①保険料 ②申請方法 ③認定結果 ④利用者負担 ⑤その他

該当に○印  サービス内容 ①ケアマネ ②ヘルパー ③通所 ④施設 ⑤利用制限 ⑦総合事業 ⑧その他

家族の問題 ①介護疲れ ②生活苦 ③介護方法 ④その他

労働問題 ①賃金 ②労働条件 ③業務内容 ④その他

相談内容の関連性 ①認知症 ②コロナ

その他

◆相談内容

電話相談の後付時間の確認

◆相談・助言内容

※この記録用紙は各県社保協で活用して下さい。報告は、別表「相談集約表」(Excel)に記入し中央社保協へ送付して下さい。

④ 2022「介護・認知症なんでも無料電話相談」

相談員氏名(団体名) 小倉大幸 (青森県医師会)

2022年11月11日(14)時(15)分~(14)時(30)分

相談者:	<input type="checkbox"/> 本人	<input checked="" type="checkbox"/> 家族	<input type="checkbox"/> 知人・友人	<input type="checkbox"/> 不明	性別:	<input type="checkbox"/> 男	<input checked="" type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 不明	都道府県:	北海道	市町村:	札幌
年代:	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代	<input checked="" type="checkbox"/> 80代	<input type="checkbox"/> 90代以上	<input type="checkbox"/> 不明		
何で知りましたか.....	<input type="checkbox"/> 新聞 ・ <input checked="" type="checkbox"/> テレビ ・ <input type="checkbox"/> ラジオ ・ <input type="checkbox"/> チラシ ・ <input type="checkbox"/> インターネット ・ <input type="checkbox"/> 知人 ・ <input type="checkbox"/> その他( )											
相談内容	<input type="checkbox"/> 制度・保険料など ①保険料 ②申請方法 ③認定結果 ④利用者負担 ⑤その他 <input type="checkbox"/> サービス内容 ①ケアマネ ②ヘルパー ③通所 ④施設 ⑤利用制限 ⑦総合事業 ⑧その他 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の問題 ①介護疲れ ②生活苦 ③介護方法 ④その他 <input type="checkbox"/> 労働問題 ①賃金 ②労働条件 ③業務内容 ④その他 <input type="checkbox"/> 相談内容の関連性 ①認知症 ②コロナ <input type="checkbox"/> その他											

◆相談内容

母親(88才)が1年前から認知症で施設に入っています。  
 実家(マンション)の管理をどうすれば良いか悩んでいます。冬に雪子と水道管も凍り可能性もありし。  
 今月1ヶ月に1度ぐらいは本人を連れて帰りたいです。売却というのも考えましたが、本人の所有物で雪子  
 のため、今はまだどうすべきか。

◆相談・助言内容

マンションなので、管理者がいるはずなので、冬期間については相談してみればどうかと伝えました。  
 売却するにしても本人の理解を得ないといけないので、認知症が軽いうちにご家族ご本人で  
 話し合ってみてはいかがでしょうかと伝えました。

※この記録用紙は各県社保協で活用して下さい。報告は、別表「相談集約表」(Excel)に記入し中央社保協へ送付して下さい。



2022「介護・認知症なんでも無料電話相談」

相談員氏名(団体名) 分、津川 智保留

2022年11月11日(15)時(00)分~(15)時(30)分

相談者:	<input type="checkbox"/> 本人 <input checked="" type="checkbox"/> 家族	<input type="checkbox"/> 知人・友人 <input type="checkbox"/> 不明	性別:	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> 不明	都道府県	北海道
年代:	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input checked="" type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代 <input type="checkbox"/> 90代以上	<input type="checkbox"/> 不明				
何で知りましたか..... <input checked="" type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> その他( )						
相談内容	<input type="checkbox"/> 制度・保険料など ①保険料 ②申請方法 ③認定結果 ④利用者負担 ⑤その他 <input type="checkbox"/> サービス内容 ①ケアマネ ②ヘルパー ③通所 ④施設 ⑤利用制限 ⑦総合事業 ⑧その他 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の問題 ①介護疲れ ②生活苦 ③介護方法 ④その他 施設の状態 <input type="checkbox"/> 労働問題 ①賃金 ②労働条件 ③業務内容 ④その他 <input checked="" type="checkbox"/> 相談内容の関連性 ①認知症 ②コロナ <input type="checkbox"/> その他					

◆相談内容

義理の父が一人暮らしで、認知症がみで介護中。ケアマネや医師にも相談している。  
 近くに住んでいる家族が世話をしている。要介護2なので特養に入りたいが、先ずは、  
 老健施設やグループホームを勧められている。ただ、お金の管理が心配になっている。いろいろ  
 法はいろいろ。

◆相談・助言内容

お金の管理の問題が始まるのは、お金の成年後見制度を考慮してみたらどうか、裁判に一度電話して  
 みて下さい。そしてまだお金の管理が心配な場合は、老健やグループホームに入所を検討するか、金銭面では  
 支援が得られるようにお金の管理がどう決まればよいかを相談してください。

※この記録用紙は各県社保協で活用して下さい。報告は、別表「相談集約表」(Excel)に記入し中央社保協へ送付して下さい。

(1)

# 2022「介護・認知症なんでも無料電話相談」

相談員氏名(団体名) 長寿連 小倉

2022年11月11日(月)時(50)分～(77)時(58)分

相談者:	<input type="checkbox"/> 本人	<input checked="" type="checkbox"/> 家族	<input type="checkbox"/> 知人・友人	<input type="checkbox"/> 不明	性別:	<input type="checkbox"/> 男	<input checked="" type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 不明	報道障害	<input type="checkbox"/> 是	<input checked="" type="checkbox"/> 否
年代:	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input checked="" type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代	<input type="checkbox"/> 80代	<input type="checkbox"/> 90代以上	<input type="checkbox"/> 不明	
何で知りましたか……	<input checked="" type="checkbox"/> 新聞・ <input checked="" type="checkbox"/> テレビ・ <input checked="" type="checkbox"/> ラジオ・ <input type="checkbox"/> インターネット・ <input type="checkbox"/> 知人・ <input type="checkbox"/> その他( )										
相談内容	<input type="checkbox"/> 制度・保険料など <input type="checkbox"/> 申請方法 <input type="checkbox"/> 認定結果 <input type="checkbox"/> 利用者負担 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 〇印 <input checked="" type="checkbox"/> サービス内容 <input type="checkbox"/> ①ケアマネ <input type="checkbox"/> ②ペルパー <input type="checkbox"/> ③通所 <input type="checkbox"/> ④施設 <input type="checkbox"/> ⑤利用制限 <input type="checkbox"/> ⑦総合事業 <input type="checkbox"/> ⑧その他 <input type="checkbox"/> 家族の問題 <input type="checkbox"/> ①介護疲れ <input type="checkbox"/> ②生活苦 <input type="checkbox"/> ③介護方法 <input type="checkbox"/> ④その他 <input type="checkbox"/> 労働問題 <input type="checkbox"/> ①賃金 <input type="checkbox"/> ②労働条件 <input type="checkbox"/> ③業務内容 <input type="checkbox"/> ④その他 <input type="checkbox"/> 相談内容の関連性 <input type="checkbox"/> ①認知症 <input type="checkbox"/> ②コロナ <input type="checkbox"/> その他										

### ◆相談内容

・ 泊入所に入所し子父型の手配。ケアマネに外出許可について  
 ・ ケアマネジャーに相談し在宅介護、連絡しているが、ケアマネジャーからケアマネージャーに連絡がとれない場合がある  
 ・ このケアマネジャーを何とかしてほしい。

### ◆相談・助言内容

・ ケアマネジャーの管理費とケアマネジャーの連絡先をしっかりと確認していただくこと。  
 ・ ケアマネジャーの連絡先が変更された場合は、ケアマネジャーと交替していただく方法あり。  
 ・ ケアマネジャーの連絡先をしっかりと確認することをお勧め。

※この記録用紙は各県社保協で活用して下さい。報告は、別表「相談集約表」(Excel)に記入し中央社保協へ送付して下さい。



# 中央社保協ニュース

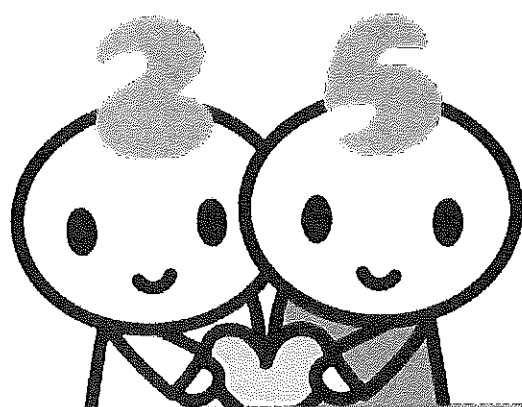
中央社会保障推進協議会 2022年11月10日22-30号  
110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 医労連会館5階  
電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345  
メール k25@shahokyo.jp  
HP <https://shahokyo.jp/>



いかそう!  
憲法25条

明日は「介護の日」介護・認知症なんでも無料電話相談  
全国はひとつ 電話相談を成功させよう

介護・認知症なんでも無料電話相談



お気軽にご相談ください

とき 2022年11月11日(金) 10時~18時

でんわ

0120-110-458

介護・認知症なんでも無料電話相談には、介護の専門家が対応します。プライバシーは厳守します。

ひとりで抱え込まないで

相談することでお悩みがもっと軽くなりますよ

中央社会保障推進協議会

公益社団法人 認知症の人と家族の会

コロナ禍が収まらぬなか、年金削減、物価高騰、75歳以上の医療費窓口負担2割化の強行、度重なる介護制度改悪により、医療や介護にアクセスできず、孤立がすすむ利用者、要介護者を抱える家族、コロナ禍の介護事業所をめぐる実態は非常に深刻です。

中央社会保障推進協議会は、認知症の人と家族の会との共催で、11月11日の介護の日、介護認知症なんでも無料電話相談を開催します。今年の電話相談は昨年から10県増え、全国30県35カ所で開催されます。全国はひとつ、介護・認知症なんでも無料電話相談を成功させましょう。

東京会場はNHKが当日のニュースで放映予定です。その他、シルバー産業新聞、しんぶん赤旗が取材予定です。各地での電話相談の取り組みは中央社保協に集中をお願いします。

11月22日は介護署名提出行動 / 署名は11月14日(月)必着で送って下さい

# 2021年度介護認知症なんでも 無料電話相談のまとめ

2022年2月 中央社会保険推進協議会

## 1 開催日時

2021年11月11日(木) 10時  
～18時(基本日時)

## 2 電話相談の主催

中央社会保険推進協議会  
東京社会保険推進協議会  
公益社団法人 認知症の人と家  
族の会  
全国23都道府県社保協が電話相  
談拠点を設けて実施  
北海道、岩手、秋田、埼玉、千  
葉、東京、神奈川、山梨、岐阜

## 3 電話相談の目的

静岡、愛知、三重、滋賀、京都、  
大阪、兵庫、鳥取、広島、山口、  
香川、高知、宮崎、鹿児島

① コロナ禍の状況も踏まえ、相  
談先を待っている多くの方の期  
待に応え寄り添い、その当事者  
の皆さんの思いや願い、要求を  
実現する取り組みにつなげてい  
きます。  
② この1年余、介護現場がおか  
れた状況は過酷の一言です。す  
べての業種で最も高い感染者数  
で、高齢者施設でのクラスター  
感染による感染者は9490

人、死者は486人にのぼって  
います(2021年5月30日共  
同通信調べ)。在宅介護の職員  
は公費負担の検査から除外して  
います。ワクチン接種の優先は  
「条件付き」、すなわち「感染  
者や濃厚接触者へのサービス継  
続」を事業所が確約した上で、  
従事者とその条件を確認して接  
種するなどとなっています。  
③ このような、利用者・家族、  
介護従事者などより多くの事例  
を元に、介護改善運動につなげ  
ていきます。特に、各県・市町  
村との懇談や自治体キャラバン  
等で要望を提出し、要求実現・  
問題解決につなげていきます。

## 4 結果(統計)に ついて

① 41都道府県の553件と対話  
・相談

北海道54件、青森1件、山形4  
件、岩手18件、秋田6件、宮城  
4件、福島3件、栃木1件、茨  
城4件、埼玉28件、千葉22件、  
東京26件、神奈川49件、山梨3  
件、群馬2件、長野5件、新潟  
2件、富山3件、石川1件、福  
井2件、静岡21件、愛知42件、  
岐阜22件、三重5件、滋賀6件、  
奈良2件、京都22件、大阪59件、  
和歌山2件、兵庫23件、広島31  
件、山口3件、鳥根3件、香川  
1件、愛媛2件、高知8件、福  
岡8件、大分1件、宮崎12件、  
長崎4件、鹿児島19件、不明19  
件

(注1) 東京では、148件の電  
話相談を受けているが、相談拠点  
を設けていない県からの電話を受  
ける、拠点県での電話回線が埋ま  
った場合の電話を受けるなどの理  
由で東京都内からの電話が受けき  
れなかったことが考えられる。

(注2) 大阪では、市外局番の關係で兵庫県内からの一部の電話を受けている。

②相談者の状況

(1) 相談者

本人116人、家族402人、知人13人、不明4人

(2) 相談者の性別

男性186人、女性337人、不明4人

(3) 年齢層

10代0人、20代1人、30代7人、40代29人、50代81人、60代91人、70代135人、80代113人、90代以上10人、不明50人

(4) この電話相談を何で知ったか(複数回答可)

新聞34件、テレビ358件、ラジオ33件、チラシ12件、インターネット4件、知人から8件、その他28件

(5) 相談内容の分類(重複有)

制度内容179件、サービス内容226件、家族問題285件、労働17件、その他105件

(※認知症関連192件、コロナ禍関連59件)

調査結果の公表に当たって

は、本人家族、聴取者が特定されないように配慮しました。

5

相談内容全体を通じて

昨年に続き、「コロナ禍」での電話相談活動となりました。

コロナ禍の長期化に伴い、施設入所では家族との面会の制限の問題、通所介護系ではサービスが制限・抑制される中で、家族介護の負担の増大が顕著にみられました。コロナ禍で施設での介護も在宅での家族による介護も大変困難な状況が続く、「やれる範囲で自己努力を行ってきたがもう限界」「なんとかして欲しい」「まずは思いを受け止めてほしい」との悲痛な叫びが全国各地で出されました。コロナ禍以前から度重なる介護サービス利用抑制・制限の政策がある中で、追い打ちをかけるコロナ禍という事態の中でさらに一層、介護利用者、家族、介護従事者が苦しめられて、そのことにより昨年の2倍の相談件数と

なっており、あらためて、介護現場が認知症介護サービスの充実を求めていることがわかりました。また高齢介護者が相談しやすい医療・介護機関を求めていることもわかりました。

相談件数は553件で昨年の2倍ですが、それでも氷山の一角でしかありません。「何度もかけなおして、やっとつながった」との声もたくさんあったことが物語っています。また、電話相談をする余裕も気力もない人たちが巷にあふれているのではないかということに想像を馳せることが必要だと感じています。私たち社保協は全国に約400の地域組織をもっています。が、地域での個別の相談活動もさらに重視しながら、さらに今回の調査結果をもとに市区町村、都道府県など行政への働きかけを強めていきたいと考えています。

特徴1

コロナ禍でデイサービスなど

通所系介護が制限されたことが、家族の介護負担を増大させたことがわかります。

厚生省資料によると令和2年度の受給者統計でも、通所介護が△4.2%、通所リハビリが△6.9%など大きく前年を下回っています。「ステイホーム」が盛んに呼びかけられたことに加え、通常でも厳しい人員体制を強いられている介護施設としてもコロナ対策もしながらの受け入れに限界があったのは当然です。

そうした中で、家族による介護でやれる範囲で自己努力を行ってきたがもう限界、なんとかして欲しいなどの悲痛な叫びが全国各地で出されました。相談者からは「介護と家事に追われ、心身ともに限界を迎えている」「認知症の妻が『死にたい、殺して』と口走ることが多くなってきた」「介護の悩みを誰にも相談できない。話し相手がいない。自分の将来が心配、死にたいと思っている」「早く逝って欲しい」と思ってしまう」といった思

いが吐露されています。相談員からは「とにかく聞いて欲しかったようだ」との感想が寄せられています。

私たちは、介護保険制度導入以降の度重なる介護サービス利用抑制・制限の政策が続く中で、コロナ禍という事態が追い打ちをかけ、一層介護利用者、家族、介護従事者が苦しめられていることが、昨年の2倍の相談件数となつていることにあると考えられています。結局、ステイホームせよと政府・自治体は要請し国民は応えていたが、具体的な対応策を打つことがないまま家族介護に丸投げ、放置状態となつていたと言えるのではないのでしょうか。

### 特徴2

コロナ禍でますます介護者が「孤立」を深めていると思われる。コロナ禍で在宅介護の比重が高まった事と、往來の自粛要請の反映と思える相談も多数ありました。

コロナ禍以前は他県からも家族や兄弟姉妹の介護支援があつ

たものが、「コロナウイルスをうつしてはいけない」との意識も作用してその援助が途絶えがちとなり、孤立した介護状態が深刻化したことが伺えます。「1人で夫の介護に疲れた。うつ状態の精神状態です。この先、この介護はいつまで続くのか」

「コロナ感染予防のため、通いの家族の支援を受けることができない」「認知症の夫の介護を全く頼れる人がなく毎日、死ぬのうと考えている」「消えてなくなりたい」など孤立した家族介護の実態も見えてきました。それは、近くにいるはずの介護専門職との関係にも表れて、ケアマネジャーなど専門職との相談の機会、コミュニケーションの機会も少なくなり信頼関係が壊れる中で、相談先を失っている方も多数見受けられました。そして、今回の電話相談では、ケアマネジャーを行うケアマネジャーなど相談員が必死に寄り添い相談を傾聴するが、介護相談の枠を超えた生活そのものでの相談が多数あり、

介護相談の範疇を超えた事例が多くみられたことも大きな特徴と言えます。

### 特徴3

介護の費用負担をめぐる悩みが一段と深刻化していることが明確になりました。2021年8月に実施された「補足給付」の見直しは介護者に「大打撃」を与えていると言えます。

具体的な相談内容から拾ってみると、制度変更で納得がいかにいままま食費が月2万円以上の負担増になり、払えない、退所を考えざるを得ないなどの相談も多数寄せられました。「2万数千円上がり、自分のがん治療費を考えると生活のめどがたない」「父親のロングショートステイの利用料が月4万円上がった」「特養の利用料が3万円上がったが、母親の年金では足りず生活保護の相談に行つたが対象外だと言われた」、中には「夫の特養の費用が上がり、残り5万円で自分の家賃や水光熱費を払うことになった。年寄りには死ぬということか」「利用料

が8万円以上増えた。どこに訴えに行けばいいのか教えてほしい」と泣きながらの相談も多数ありました。

振り返ると2021年度、3年に一度の介護保険料改定があり、全国平均も6000円(月額)を超えています。相次ぐ負担増の影響は、介護相談を一つの切り口に生活全般にかかる相談となつていきます。「生活が苦しい。国民年金6・3万円、預貯金3万円。生きていたくない」と次々と話し出す方、「母親は目が離せない。自分も目が見えない。介護で離職した。母の年金5万円しかなく、生活も厳しく、夜間のおむつ交換もあり、生活も体も限界」などの訴えがあります。

### 特徴4

コロナ禍で「施設入所家族との面会が制限」されて認知症が進行したのではないかといった不安や不満などが多く出されています。

具体的には「施設入所中の妹に面会に行きたいが、他県から

の面会は受け入れられないと言われた」「県外からの面会者は4日間待機した後に」「持病があるためワクチン接種ができていないが、それを理由に面会が許されなかった」と施設側から断られた事例など、引き続きコロナ禍で介護施設での面会が思うように進んでいないことへの不安や不満が多数出されました。

全体としてワクチン接種が進みましたが、体質が原因で接種できない家族に対して面会を許可されないことへの不公平感、施設の所在する県外からの面会は許可されないことの根拠が理解できないなど、さまざま納得できないことが話され、施設側のコロナ感染予防対策強化と面会を望む家族の思いとの乖離が顕在化しました。しかし、「日頃からの人手不足の上に、コロナ禍で消毒作業や換気作業などが大変なため入所者と向き合う時間が一層不足し、いい介護ができない。優しい心で接することができない」という施設の介

護労働者の悩みもあり、根底にある「人員不足」がこうした形で浮き彫りになってきているものと考えています。

そして、今年はこの「面会」の問題に加えて「認知症が進行したのではないか」との悩みが多数寄せられているのが特徴です。「やっと久しぶりにタブレット越しで顔を見ると、印象が変わるほどに痩せ細っていた」「表情がなくなった、目が動かなくなつた」など認知症が進んでいるのではないかとこの悩みがいくつも出されています。そして、「老いいく家族との残り少ない時間への焦り」が語られています。やはり、人手不足にコロナ禍が重なり、介護施設との信頼関係も壊れ、八方ふさがりに置かれている利用者・家族が多数いることもわかりました。

### 特徴5

例年より一層多くなったのが、「とにかく、一度話を聞いてもらいたかった」など差し迫った不安の中、相談内容が整理されないまま電話をかけてきて

いる方が多くみられたことです。

コロナ禍で家族間、知人間の交流も制限される状況が続き相談をする相手や機会を失って、この電話相談の報道を見ていても立っていられず電話をしてきた様子が伺われます。自らが抱えている悩み、モヤモヤなどをどこに相談したらよいかかわからず、この相談電話を知り、かけてきている傾向が見られるというのが相談員の共通する感想です。中には「母親と心中を考えた」と涙ながらの相談もあったとのことです。

そして、相談内容でいわゆる「8050問題」に関わるものが引き続きあり、高齢の親に依存する子どもへの対応での悩みが解決できていないことも明確になりました。

### 求められる自治体の役割

最後になりますが、政府は、介護サービス利用を抑制する政策をさらに押し進めようとしています。そして、介護労働者の人員不足をIT化で乗り切る方

向を打ち出しています。しかし、介護は人と人との触れ合いの中でこそ豊かな生活が保障されるのではないのでしょうか。介護人材不足を機械に置き換えたりIT化で解決しようとするのではなく、介護労働者が働きやすい環境を整備していくことこそが安心、安全の介護サービスの提供につながります。

昨年のこの電話相談のまとめの中で、「国が責任をもった『介護の社会化』を実現する介護保険制度へ抜本的に改革し、都道府県・市区町村が一人ひとりの実情を責任持って把握し具体的施策を行うことに真の解決の道筋がある」と記していますが、改めてそのことを実感しています。そして、生活苦、貧困格差の拡大の中で、介護サービス利用に関わる相談から派生して発生するさまざまな相談に対して、多面的・総合的に受け止める体制が必要であり、具体的な対応を行う自治体の役割が一層求められることを提起しておきたいと思えます。そして、各地

の社保協が行う自治体キャラバンや自治体交渉(懇談)などで、相談内容を改めて行政へ提起し対応策・改善策を求めていきます。

私たちは、この電話相談に寄せられた「苦悩」や「叫び」を真正面からとらえて、国民が本来に願う「介護の社会化」が実現できるように、介護をする人、介護を受ける人が手を携えて介護保険制度の抜本的な改革を求めていきます。

### 6 具体的な 相談事例より

○私(60歳)は夫(75歳、要介護1)と2人暮らし。夫は脳血管性とアルツハイマーの混合型の認知症で、今は歩行も困難な状況。私自身コロナ禍もあり、介護につかれて鬱的な精神状態。この間、主人が大きな声ですので殴ってしまい、出血してしまった。この先、この介護がどのくらい続くのか? このことを考えると気持ちが落ちつ

かない。一番困ったことはワクチン接種の予約をとれないこと。

○4年前に夫が他界し、私(相談者)自身その後ケガ、病気で体調不良が続くが、要支援2が要支援1に。将来が心配なので特養ホームに入りたいが、ケアマネ、デイ職員から無理と言われる。入れないのか。生活が苦しい。国民年金6・3万円、預貯金3万円。生きていたくない。生活保護受給だとわかると白い目で見られる感じがする。生活が苦しいため、友達をつくることもできない。

○認知症(前頭側頭型)の夫(80歳)を13年間介護。現在、夫は介護施設に入所しているが、8月から食費が月2万円上がった。金額を見てびっくり。要介護4で精神障害1級。介護保険のサービスは限度額だが、食費が上がるのは本当に驚いた! 何とかやりくりしていくしかない。

○父(99歳、要介護4)は特養ホームに入所して2年半が経過。1週間に1回は面会ができていたが、コロナ禍になって面会不可となり、LINEでの面会に。しかし、父の反応が全くなかったのでやめてしまった。先日、1年ぶりにやっと会えたが、頬はこけ、無表情であり、の変わり果てた姿にショックを受けた。面会できることになったが、県外者はダメ、双方がワクチン接種をしていないとダメ。89歳の母(妻)は肝臓病があり未接種のため面会できない。父の残された日数は限られており、なんとかしたい。施設への不満をどこにぶつけたらいいのか。

○妻(79歳、要介護1)は1年前にアルツハイマー病と診断。身の回りのことは自分でできるが、食事の支度はまったくできず、夫である私(81歳)がその他の家事もこなしている。妻は、週2日午後デイケアに通ったりしているが、最近では「死にたい、

殺して」と口走ることが多くなった。どう接したらよいかかわらない。

○77歳の夫(認知症、要介護4)を1人で介護。デイサービスを週4日利用しているが、トイレがわからなくなったり、トイレの仕方がわからなくなっている夫のことで悩んでいる。時々、流し台で排尿しようとしたり、外で放尿しそうになる。夜中にトイレに起きて外に行こうとすることも。相談者(妻)は、自分で何でもやらないと気が済まない様子で、介護施設など他の人に預けることに抵抗がある。トイレのことだけ何とかならないかとの悩み。

○27年前、46歳の時にくも膜下出血で右半身不随となり、今も足に装具を使用し、車いすを手だけで動かして移動している。臭いもわからなくなっている。排せつは紙パンツにパットを使用しているが、間に合わず失敗も多い。夫と次男と暮らし





電話相談のようす (愛知)

ているが、昼間は1人。4年前の更新で要介護4から要介護2に。今年11月の更新でも要介護2(期限令和7年11月)だった。とても困っているのに要介護2は納得ができない。

○88才の母と長男の2人暮らし。母親は一昨年、心臓病悪化で入院後、脳梗塞。要介護2だが、要介護3くらいでは。母親は目が離せない。自分も目が見えない。介護で離職。母の年金5万円しかなく、生活も厳しく、

夜間のおむつ交換もあり、生活も体も限界。ケアマネは、利用料負担が厳しいのにサービス利用を進めてくる。どうしたらいいか。

○義父(95歳、要介護5、静脈注射・点滴の医療行為あり)の介護で息子の妻からの相談。義父は介護療養型医療施設に入所中だが、「自宅へ戻りたい」と言う。主介護者となっている私(息子の妻)は10年以上も在宅介護を行ってきた疲弊。夫も親類も介護には無理解で「嫁がみて当たり前」と言われ続けてきた。義父も私に対して人使いが荒く、「ありがとう」と感謝の言葉も言われたことはない。「消えてなくなりたい」「入所してはいるが、私が無理に入所させたような罪悪感がある」「先が見えない」と悩んでいる。

○親が2年前から有料老人ホームに入所しているが、夜は72人を3人で看っていて、介護体制が不十分だと感じている。昨年2

月まで歩いて食堂まで行き食事ができたのに、今は要介護4から5に。コロナ禍で面会できないまま重症化したと感じる。62kgあった体重が40kg台になってしまった。専門職の介護従事者の体制を強化してほしい。

○次女より相談。94歳の母が、亡くなった兄の妻と孫と同居。私と姉は、それぞれ他県に住んでいて、姉と交互に様子を見に行っていたが、コロナ禍で行くことができない。同居の兄の妻が母に罵声を浴びさせたりして精神的に病んでいるようで、介護放棄をしているようにも思える。何か打つ手がないか。

○母(92歳)が階段から落ちて入院。住んでいたのが古い文化住宅で、退院後は階段が昇れない状態だったので、本人に相談せずに自分の住む市のサ高住に入居させた(昨年3月)。施設やサービスに不満はなく、本人も心配しなくてよいと言っているが、母を介護施設に入

れてしまったことを後ろめたく思い、そのことを考えると夜も眠れず、仕事の手につかない。月1回の通院と週1回の面会でしか会えず、入居する時に毎日会いに来ると約束したのに申し訳なく、自分でもどうしたらいいかわからない。

○夫が昨年2月より特養入所中。今まで6000円台だった食費が8月から倍の14700円に値上がりし、月2万3000円にアップ。夫の年金13万5000円から特養利用料8万3000円を支払うと、自分自身の生活費は5万円しか残らない。自分の国民年金はわずかで、家賃や光熱費を支払うと、施設にいる夫より、家にいる自分の方が食べていくのが大変。年寄りには死ぬということか。社会福祉課へ相談したが、「国が決めたことだから」と言われ、生活保護もだめだった。困っている高齢者がいることを、国へ声を上げてほしい。

青森県 病院局長  
嶋谷 嘉英 殿

青森県社会保障推進協議会  
会長 大竹 進

地域医療研修会の講師について（依頼）

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、社会保障の推進につきまして、格別の御理解と御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本協議会では、地域における医療に関する理解を深めるため、下記により研修会を開催いたします。

つきましては、当研修会の講師として、貴殿に御講義、御指導を賜りたいと存じますので、御高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日時  
令和4年11月30日（水）14時～16時
- 2 場所  
青森県観光物産館 アスパム 5階白鳥  
（青森市安方1丁目1-40）
- 3 研修会次第（案）
  - （1）あいさつ（大竹会長）
  - （2）講演（嶋谷嘉英 青森県病院局長）
  - （3）質疑応答 ※25分程度
  - （4）閉会
- 4 講義内容  
『共同経営・統合新病院整備について』（90分程度）

青森県社会保障推進協議会  
担当：事務局長 津川文彦  
TEL:017-718-2375 FAX:017-773-5326  
E-mail:tugawa@aomin.jp



# 病院局運営部 職員名簿

病院局運営部

青森市東造道 2-1-1

郵 030-8553

電 017-726-8111(代表)

FAX 017-726-8325

(地域医療課)

青森市中央 3-20-12 交通管制センター2階

郵 030-0822

電 017-718-3140(直通)

病院事業管理者 吉田 茂昭

病院局長 嶋谷 嘉英

地域医療調整監 阿部 善弘

運営部長 田口 晋

地域医療課

課長 川下 賢一

主幹 大野 智継

主幹 斉藤 研

主査 秋元 一也

経営企画室

室長 天間 秋佳

副参事(副室長) 中村 直

主幹 三浦 浩紀

主事 伊藤 香澄

主事 佐々木 啓太

主事 長尾 拓也

主事 木浪 安駆里

技師 飯村 健治

技師 坂本 恭子

「将来にわたって、地域住民に対して安定的かつ質の高い医療を提供できる病院、医療従事者が働きがいと達成感を得られる病院となることを期待する」

～県立中央病院と青森市民病院のあり方についての提言より

## どう変わる!?おらほの地域と医療

# 『県病と市民病院の統合整備計画』 研修会

国が2025年を目指して取り組む「地域医療構想」の実現。まもなく3年となる新型コロナウイルス感染症への対応などに配慮しながら、質の高い効率的な医療提供体制を維持していくためとして、県内6つの二次医療圏ごとに自治体病院等の機能再編成による機能分化・連携がすすめられています。

青森地域においては、急性期医療や政策医療などの基幹的役割を担う県立中央病院と青森市民病院のあり方について協議会が設置されました。地域医療の中核を担う二つの病院はどうなるのか、私たちの身近な医療や暮らしはどう変わるのか、一緒に考えてみませんか。

## 演題 『共同経営・統合新病院整備について』

講師 青森県 病院局長 嶋谷 嘉英 氏

日時 2022年11月30日(水)14時～16時

場所 青森県観光物産館アスパム5階「白鳥」

参加費 無料



【お問い合わせ】 青森県社会保障推進協議会 ☎ 017-718-2375

すべての子どもたちを安心の医療を!

# 国の制度として、 18歳までの医療費を無料に

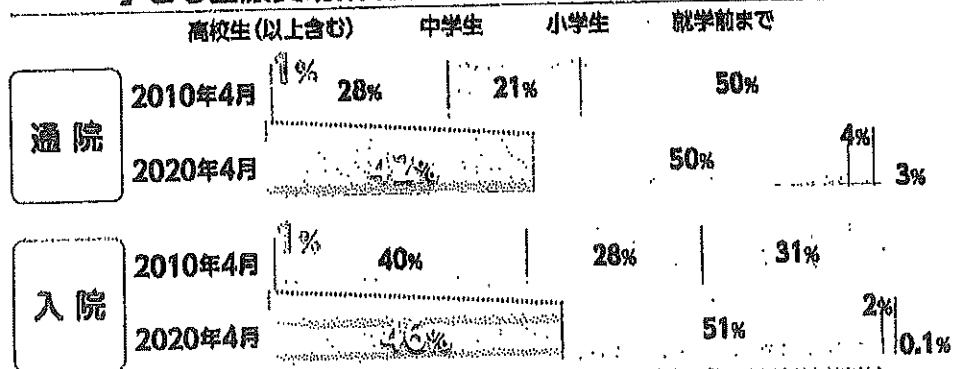


絵：いわさきちひろ 五つぼのえんどう豆 1972年

みんなの声で  
全国各地で  
高校生(以上含む)まで  
対象年齢拡大中!

ここ10年間で、  
「高校生(以上含む)まで  
医療費助成の対象とする自治体が、  
通院で18(約1%)から736(約42%)に、  
入院で19(約1%)から804(約46%)に  
大幅増加しました!

## 子ども医療費助成制度の対象年齢の自治体比率



※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはなりません。  
出所：厚生労働省「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」より作成

国の制度創設を求める署名にご協力ください

# 国の制度として、18歳までの医療費窓口負担を無料に

## 〈 請願趣旨 〉

新型コロナの影響によって、ひとり親世帯をはじめ多くの子育て世代の生活困窮や子どもの貧困の深刻化が懸念されています。コロナ以前から問題となっていた少子化もさらに拍車がかかっています。しかし、国民生活の困難に対する政府の対策は不十分なまま、影響が長期化しています。

子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気があります。そもそも子どもは病気にかかりやすく、抵抗力が弱いため、重症化することも多くあります。子どもの病気の早期発見・早期治療を支え、すべての子どもの健やかな成長を保障するために医療費の心配を無くすことはますます重要となっています。

これまでの取り組みで、自治体を実施する子ども医療費助成制度は、対象年齢を高校卒業までとする自治体が入院・通院とも4割を超えるなど、大きく拡充されてきました。しかし、制度の内容をみると、対象年齢、所得制限・一部負担の有無、「現物給付」と「償還払い」(\*)の違いなど、自治体間で大きな格差があります。

一部負担はたとえ少額であっても、特に生活困窮世帯で受診の妨げになります。また、国は、小学生以上の医療費助成を「現物給付」で実施する自治体の国民健康保険については、国庫負担を減額するペナルティを行っています。そのため、「現物給付」で対象年齢をより広く実施している自治体ほど財政の負担が重くなり、ペナルティを避けるために「償還払い」にしている自治体では、受診抑制も発生しています。

どこに生まれ、どこに住んでも、すべての子どもに必要な医療が保障されるべきです。そのためには、子ども医療費無料制度を国として創設することが求められています。全国知事会も、国による制度の創設を要望しています。また、成長期にある子どもの病気の早期発見と早期治療、治療の継続を確保する上で、受診抑制が発生しない形で子ども医療費無料制度の実施が必要です。

2018年12月には「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策を総合的に推進する」ことを目的とした成育基本法が全会一致で成立しました。国による子ども医療費無料制度の創設は、この法律を実効あるものにするにもつながります。

以上の点から、下記事項の実現を求めます。

※「現物給付」は医療機関の窓口で負担なく医療が受けられる方式で、「償還払い」は、医療機関の窓口で自己負担額を支払ったうえで自治体に申請し、支払った医療費の還付を受ける方式です。

## 〈 請願項目 〉

- 1、18歳年度末までを対象とする国の医療費窓口負担無料制度(入院時の食事負担を含む)を早期に創設すること
- 2、子ども医療費助成を現物給付した自治体への国民健康保険(国保)国庫負担の減額措置(ペナルティ)を完全に廃止すること

※名前、住所は郡や丁目、番地などを省略せず、一人ひとり明記を。「同上」「#」は無効です。

お名前	ご住所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

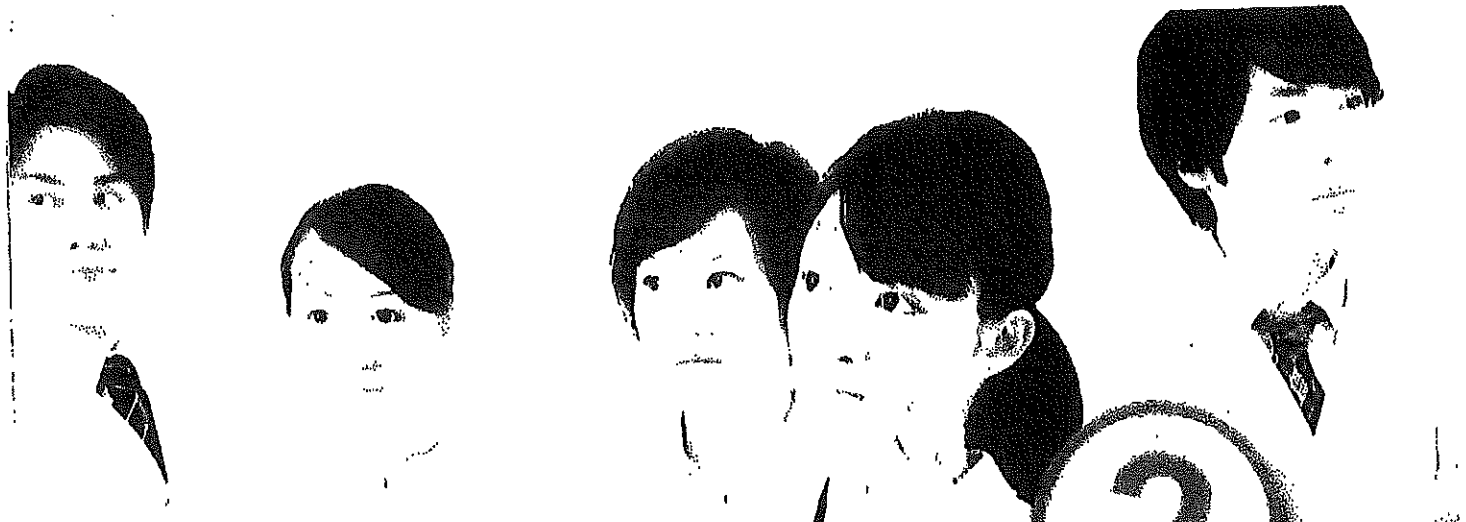
※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。  
※鉛筆や「文字が消せるボールペン」でのご記入はご遠慮ください。

子ども医療費無料制度を国に求める全国ネットワーク(略称:子ども医療全国ネット)

【事務局団体】 新日本婦人の会 / 全日本民主医療機関連合会 / 日本医療福祉生活協同組合連合会 / 全国保険医団体連合会



〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館5階 全国保険医団体連合会  
電話: 03-3375-5121 <https://kodomoriyou.jlmdofree.com>



# マイナ保険証

## 本当に必要ですか？

### 「健康保険証の廃止」に反対します！

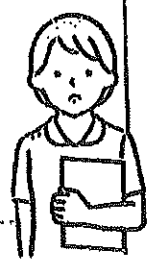
政府は今、マイナンバーカードを全国民に所持させるため、カードに保険証機能を搭載した「マイナ保険証」を作成することを国民に呼びかけています。しかし、申込みが進まないため、全医療機関には2022年度中にカード読み取り機器の設置義務化を、保険者（健康保険）には、2024年度中に保険証を発行するかしないか選ばせ、将来的には従来の保険証を原則廃止にする、という方針を打ち出しました。

法律では、カードの取得は国民の任意とされています。にも関わらず、保険診療という生命健康に関わるサービスの利用を阻害しかねない保険証廃止の方針を打ち出すことは、事実上のマイナンバーカード取得強制であり、国民皆保険の理念に逆行するものです。

個人情報を番号に結びつけて一元管理しようとする「マイナンバー制度」には、個人情報の恣意的な収集や、情報漏洩の危険が指摘されています。政府には拙速なマイナンバーカード普及方針を撤回すること、少なくとも国会での審議をつくし、その是非について慎重に検討することを求めます。

#### 国民からの声

- 現行の保険証提示による資格確認に問題は起きていません。多額の税金をつぎこむ無駄づかいは中止すべきです。
- 患者への手助けやマイナンバーカード紛失のトラブル、日々のシステム運用などにたくさんの負担がかかります。コロナウイルス感染症への対応でひっ迫している医療現場の体制の拡充にこそ力を注ぐべきなのに。



#### 医療者からの声

- 保険証が原則廃止となったら、マイナンバーカードを持たない人は、公的医療保険が受けられなくなるのではと不安です。
- 保険者における保険証発行の選択制導入は、加入者に対してマイナンバーカードを取得するよう、圧力をかけることとなります。将来的に保険証が原則廃止となれば大きな不便とカード紛失の危険が付きまとうこととなります。



#### 企業者からの声

- 保険証の廃止は、事実上マイナンバーカード取得の義務化に限りなく近いもの。マイナンバーカードの取得は任意とする法令に抵触するのみならず、国民皆保険を掲げる中で保険証を廃止するのは違法です。



マイナンバー制度反対連絡会

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿  
総務大臣 寺田 稔 殿

## マイナンバーカード取得義務化につながる「健康保険証の原則廃止」と「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」の撤回を求める署名

年 月 日

「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）2022」は、2023年4月から「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」、2024年度中には「保険者による保険証発行の選択制」を導入し、マイナ保険証に切り替える誘導をおこない、これらを踏まえて「保険証の原則廃止」を目指しています。

保険証が原則廃止となれば、マイナンバーカードをもたない者は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、「保険証廃止」は事実上、マイナンバーカードの取得義務化に限りなく近いものとなります。

事実上のマイナンバーカード取得義務化により、マイナンバー制度とマイナンバーカードで管理している個人情報を民間事業者が利活用することが広がります。個人に関する様々な情報（データ）を名寄せすることで、個人の人物像をコンピュータ上などに「仮想的」に作り出すプロファイリングによって、国や企業が人々の選別や分類、等級化を進め、人権が侵害される可能性が危惧されます。マイナンバーカードの取得はあくまで任意です。マイナンバーカード取得強制につながる「健康保険証の原則廃止」方針の撤回を求めます。

「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」は、システム導入に伴う多額の経費や維持費の発生等、医療現場へ大変な負荷をかけることが懸念されています。コロナウイルス感染症への対応で逼迫している最前線の医療現場で、医療機関も患者も望んでいない義務化は撤回し、医療機関と国民が求めている医療体制の拡充にこそ力を注ぐべきです。

「健康保険証の原則廃止」につながる「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」を撤回し、すべての国民の個人情報を尊重、擁護し、真に国民生活を向上させるためのデジタル化を進めることを求めます。

### 要請項目

一、「健康保険証の原則廃止」と「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」を撤回すること。

氏 名	住 所

マイナンバー制度反対連絡会（取扱団体：

マイナンバー制度反対連絡会、臨時拡大事務局会議 議事録

日時 2022年10月26日(水) 15:30

場所 けんせつプラザ東京・WEB

参加者

① 事務局団体

全労連(原、高島)、全商連(聖生)、東京土建(木村、末浪)、東京地評(阿久津、鎌田)、  
自治労連(板山)

② 関係団体対策会議団体(事務局団体とのダブリ除く)

中央社保協(林、大嶋、連絡会加盟)、保団連(曾根)、日本医労連(鎌倉)

議題

● 情勢と今後の運動の行方

10/13 河野大臣の記者会見後、世論の怒り奮闘、社会問題化に成功

ネット署名の爆発、4日で10万筆

連日、全労連に署名用紙問い合わせ 全労連・日本共産党HPからDL可能、

ヤフーニュース等トップ記事、岸田総理代わりの証明書で大紛糾

国会、批判受け閣議決定での逃げ出来ず、通常国会マイナンバー改正法案提出へ

野党議員が国会質問、ブログなどで反対の意思表示

● 課題

中央団体で運動なし、組織として動いていない→通常国会対策

署名が回っていない→国会請願署名がない

● 11/17 院内集会(案)

【日時】 2022年11月17日(木) 12:30~14:30 (200名)

【場所】 衆議院第二議員会館 1階多目的会議室 (200名収容)

【主催】 マイナンバー制度反対連絡会・共通番号いらぬネット・保団連

【後援】 自由法曹団・(マイナンバー違憲訴訟弁護団)

【名称】 『マイナンバーカード取得の強制・健康保険証の廃止

オンライン資格確認システム導入の原則義務化反対 緊急・院内集会』

事務連絡22-10号  
2022年10月21日

## 「第13回地域医療を守る運動全国交流集会」視聴のご案内

中央社会保障推進協議会  
事務局長 林 信悟

新型コロナウイルスの蔓延は収まらず、物価高騰の中での75歳以上の医療費窓口負担2割化の実施など私たちの暮らしはますます深刻となっています。自治体キャラバンのなかでは自治体の職員から「国民健康保険は相互補助」などという信じられないような発言が出されています。来年の一斉地方選挙を見据え、国保問題を大きな争点にしていくために国民健康保険のそもそもの役割りはなにか、どのようなたたかいが今後必要なのかを考える場として国保改善運動学習交流集会を開催します。

### 記

- 日時 2022年11月23日(水・祝) 13:00~17:30(予定)
- ▶ スケジュール
- |       |  |
|-------|--|
| 13:00 | 開会   |
| 15:15 | 記念講演 寺尾正之氏(日本医療総合研究所・研修委員)<br>● 住み続けられる地域を守る - 医療提供体制の再編と公的・公立病院削減政策の破綻と再生(仮題) - |
| 14:30 | 基調報告   |
| 15:10 | 特別報告   |
| 16:10 | 参加者からの報告   |
| 17:30 | 閉会挨拶   |
- 場所 日本医療労働会館2階会議室  
※ ZOOM を利用しての完全オンライン形式  
ZOOM 情報は申込者にお知らせします。
- 申込み 下記、URL より参加登録をしてください。  
▶ 「団体・組織」については中央社保協で登録をしてください。  
▶ ZOOM 情報や資料などは登録していただいたらと思います。
- 登録 URL : <https://us06web.zoom.us/join/91164800000>

以上



# 地域医療を守る運動

## 全国交流集会



2022年11月23日  
13:00~17:30 (閉会予定)

オンライン開催  
(Zoom)

参加費 無料

コロナ感染症などパンデミック発生やさまざまな災害時における医療提供体制の在り方がすすめる医療提供体制縮小の中で、ベッド削減ありきの「地域医療構想」ではなく、必要なベッド数を確保する医療提供体制の確立  
全国各地の地域医療崩壊の問題を考えながら、医療提供体制の縮小・削減をくい止め、地域医療を守り充実させていく一致点で全国各地での運動を前進させるため、全国の取り組みについて交流を図ります。各地の「地域医療構想」「医療計画」を踏まえながら、住民要求にもとづく地域医療の実現をめざします。そのためにも、地域社保協への結集などで運動を前進させます。

要があるからだ。コロナ禍のもとで、住民の健康といのちを守るには、「余力と備え」のある医療提供体制の確立が不可欠だ。公的責任を住民の自己責任や助け合いに転嫁し、自治体を融合させて地方統制を強めている岸田政権に対し、住み続けられる地域を守る政策への転換を求めらる。

### Zoom接続開始

<https://us06web.zoom.us/join/join?secret=1234567890>

### 開会(主催者挨拶/実行委員会)

#### 記念講演 寺尾 正之氏

(日本医療総合研究所 研究・研修委員)

住み続けられる地域を守る  
一医療提供体制の再編と公立・公的病院削減政策の  
破綻と再生---(仮題)

地域医療構想は、医療費抑制を目的に2025年度までに高度急性期・急性期病床を3割削減する計画だが、21年時点でも病床数は70.4万床と横ばいで減っていない。地域に医療開



### 基調報告

### 特別報告

### 参加者からの報告

### 閉会あいさつ、終了

自治労連所属の方は、自治労連本部へのお申込みをお願いいたします。

申込はこちらから



主催  
実行委員会団体  
事務局

## 中央社保協 連続学習企画 企画書

中央社保協 総会方針より抜粋

## (5) 社保協運動強化の課題

## ① 学習運動の推進

1. 全国的な学習運動 オンライン講座の開催を検討します。当面憲法特集号のオンライン講座を計画します。社会保障誌 入門テキスト等の活用で、憲法、社会保障についての学習、宣伝運動を強化します。ホームページを引き続き活用し、団体、各県社保協の学習会等の情報を発信します。ホームページの活用と情報の収集も呼びかけ、SNSを活用した情報発信の充実についても検討します。

## 1. 目的

今期総会で学習運動の提起が行われ、中央社保協主催で11月に憲法特集号での高田清恵教授の学習会を行うこととなりました。すでに各地で学習会などが旺盛に行われています。さらに学習運動を強化・発展、来年の4月に行われる一斉地方選挙も見据え、人権としての社会保障・平和的生存権を守れの憲法9条と25条を一体としたテーマでの中央社保協主催での連続学習会の提起を行います。

## 2. 企画の概要

- 社会保障誌498号「入門テキスト」、502号「憲法特集号」の活用を
  - 憲法特集号の「9条と25条を一体に」「日本国憲法守り、くらしに活かそう」「平和的生存権まもれ」を柱に、入門テキストでの総論や各分野での社会保障について学べる場の提供。
- 日程・時間など
  - 各月の運営委員会後などかどうか
  - 1時間以内・・・講演後に動画配信とネット記事にして中央社保協のホームページにアップ。

## 3. スケジュール・テンポ

- 各分野からの学習会を提起
- 入門テキスト：医療・介護・年金・障害・生活保護・子育て支援・働き方・ジェンダー平等・平和
- 各加盟団体に講師依頼を担っていただき、主要課題などにも触れていただきたい。
- イメージ

1月	テーマ：医療	講師：保団連・民医連・医労連
2月	テーマ：インボイス	講師：全商連
3月	テーマ：教育	講師：全教
4月	テーマ：働き方	講師：労働組合
5月	テーマ：ジェンダー	講師：
6月	テーマ：	講師：

介護やマイナンバーなど、別途学習会や集会が用意されることが予測されるものは検討する。

事務連絡22-13号  
2022年10月24日

## 「国保改善運動学習交流集会」開催のご案内

中央社会保障推進協議会  
事務局長 林 信悟

新型コロナウイルスの蔓延は収まらず、物価高騰の中での75歳以上の医療費窓口負担2割化の実施など私たちの暮らしはますます深刻となっています。自治体キャラバンのなかでは自治体の職員から「国民健康保険は相互補助」などという信じられないような発言が出されています。来年の一斉地方選挙を見据え、国保問題を大きな争点にしていくために国民健康保険のそもそもの役割りはなにか、どのようなたたかいが今後必要なのかを考える場として国保改善運動学習交流集会を開催します。

### 記

■ 日時 2022年12月11日(日) 13:30~16:30(予定)

▶ スケジュール

13:00	受付開始
13:30	開会
13:35	基礎講座「国保の歴史と基礎をあらためて学ぼう」 講師：大阪社保協 寺内事務局長
14:35	実践講座「この春、国保改善へ具体的なたたかい」 講師：愛知県社保協 澤田副議長
15:35	質疑応答
15:50	指定報告(2報告予定)
16:20	行動提起
16:30	閉会

■ 場所 日本医療労働会館2階会議室  
※ ZOOM を利用しての完全オンライン形式  
ZOOM 情報は申込者にお知らせします。

■ 申込み 参加費無料、12月5日(月)13:00までにお申し込みください。  
中央社保協ホームページ会員のページ内  
「国保改善運動学習交流集会」のページよりよりお申込みください。  
※① お申込みフォームから必要事項を記入いただくと ZOOM 情報が送信されます。  
※② 資料につきましては随時上記ページにアップしてまいります。

以上

日程	コ-ス	事業担当団体	参加団体
11月 7日(日)	藤井町0234 ⇒ 平内町0234	担当：東海社会福祉協議会 加藤 文 090-7076-5818 017-723-4076 fax017-773-5326	東海社会福祉協議会(会務課)
	10:30 ⇒ 外分栗町0234 ⇒ 藤井町0234 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 社団法人 虹 健康企画
10月 24日(月)	五所山原町0234 ⇒ 大分市0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	地区年金者組合
	10:30 ⇒ 13:30 ⇒ 15:00		社団法人 虹 五所山原町 フアルマ
10月 25日(火)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：中弘高瀬社保課 衛生 浩輔 山口 公行 0172-33-5285 fax0172-34-3075	中弘高瀬社保課
	9:00 ⇒ 10:30 ⇒ 13:00 ⇒ 15:00		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
10月 28日(金)	中泊町0234 ⇒ 西白屋村0234 ⇒ 五所山原町0234	担当：中弘高瀬社保課 衛生 浩輔 山口 公行 0172-33-5285 fax0172-34-3075	中弘高瀬社保課
	15:00 ⇒ 18:00 ⇒ 19:00		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
10月 27日(木)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：中弘高瀬社保課 衛生 浩輔 山口 公行 0172-33-5285 fax0172-34-3075	中弘高瀬社保課
	9:00 ⇒ 13:00 ⇒ 14:30 ⇒ 15:00		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
10月 28日(金)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：中弘高瀬社保課 衛生 浩輔 山口 公行 0172-33-5285 fax0172-34-3075	中弘高瀬社保課
	9:00 ⇒ 13:00 ⇒ 14:30 ⇒ 15:00		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 1日(月)	中泊町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	中泊町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 18日(木)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 19日(金)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 28日(木)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 18日(木)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 9日(金)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 10日(木)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
10月 31日(月)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 10日(木)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 11日(金)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
11月 1日(月)	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：藤井五所山診療所 藤野 香子 0173-35-9693 fax0173-34-6888	藤井町0234
	9:30 ⇒ 11:00 ⇒ 13:30 ⇒ 15:30		地区年金者組合 フアルマ 地区年金者組合 地区生健会
12月 1日(木) 締結中	藤井町0234 ⇒ 藤井町0234 ⇒ 藤井町0234	担当：三八社保課 戸田 実利 八戸 康生 藤田 健太 0178-71-3456 FAX0178-73-1175	三八社保課 戸田 実利 八戸 康生 藤田 健太 地区年金者組合

※訪問日時 又は中止 ①電話連絡 ②訪問要否 ③訪問日時変更 ④訪問要否

藤崎町

Q: ④(国保) 差押1件の事情を知りたい 減免1件のケース知りたい

A: 差押えは委託で預金 減免はコロナ禍での減収

Q: 要望書⑥ 個別具体の例は?

A: 条例に沿って

昨年9世帯 国保から生保になった人・生保じゃないけど経済的に苦しい人・コロナ禍で減収した人

Q: 財政調整基金積立?取り崩し?ありますか? また、その基準は?

A: 補助金入れば切り崩し

Q: 施設待機者の把握は?

A: 把握していません。

Q: 子供の義務教育医療費の町の負担額は?

A: 額の資料なし。近隣は高校までなので検討しているが、財政負担も増えるのでそこを考えている

Q: 就学援助 国の基準通り?

A: 国の基準を一部で下回っている 入学援助やオンライン通信端末など  
オンライン端末は自宅持ち帰りはさせていない。そっちの制度を決めてからオンラインを考える。

令和3年度、51060円だと満たしていない。財政と協議して単価を考えたい。

Q: 生保利用者数はコロナ前と比較してどう?特例貸付ある?

A: 県の社協がやっているの、町には情報ない。すみません。

Q: エアコン補助 H30、4月以降は適応にならないが?

A: 国の通知が改善されないと県も変えれないので福祉事務所に要望は伝えます。  
町には直接の要望はありません。

Q: ③オンライン機器の持ち帰り 日常?休校時?

A: 日常学習での持ち帰りは禁止。休校時は許可している。

## 西目屋村

Q: 要望書の書面解答ないです。

A: 次回から文書にします。

Q: ⑨は償還払?

A: 現物でした

Q: ④留置世帯3世帯は?

A: 再三の要請しているが支払い意思がない方  
戸別訪問はコロナでしていないので電話のみ

Q: 就学援助5月は遅いので、早くなりませんか?

A: 今検討中です。

Q: トイレに生理用品置ける?

A: まだ置いていないが検討します。

Q: タブレット端末は常時持って帰る?

A: 今は対応していない。持ち帰らせてもいない。モバイルルーターの貸し出し準備している。

Q: 5万円の臨時給付はいつ?均等割でも支給する?

A: 村独自にプラス1万円(非課税世帯)対応します。

Q: 財政調整基金の状況は?

A: 令和3年は100万円積立 今は500万円くらい

Q: 介護特別会計決算書

A: どうぞ

Q: 高齢者施設は何ヶ所?

A: 2件 特養1 GH1

以前デイがありましたが、現在ない。他の地域のサービスを利用している。

弘前市

Q: ④ 短期・資格等の 世帯数は減っていますか?

A: コロナで来庁できないから窓口に来る人は減っている。よって交付も減っている。

Q: 昨年からの変更点は?

A: 多くあって答えづらい

Q: 4-④ エアコン設置認めてくれませんか

A: 運用変更なし。県を通じて国へ要望します。

Q: 4-⑥ 扶養照会を送らない場合は?

A: 親兄弟は期待できる人へ出す。仲が悪ければ出さない。資産状況の確認は強要していません。しかし大半は空欄でくるし、問い合わせがあっても「そこは空白でいいですよ」と話しています。1、2回は出すが数年ほどか以後は出さない。保護決定とは関係ない。

Q: 3-①確認

A: 18歳の年度末

Q: 3-② 必要なので国が決めたら可能な限り早くしてほしい

A: 教育委員会へ申し送ります。

Q: 義務教育無償化

A: 年間6億増あり。財源問題あるのですぐには対応できない。

Q: 学校給食のオーガニック。地場野菜を取り入れてほしい。

A: そもそも作ってる農家が少ない。一日一万食ほど。今後は国で有機農法の後押し方針になっているので増えたら対応を検討する。

Q: 3-⑨除草対策

A: 国が正式に出しているものなのであとは伝え方で、草刈りだけでは対応できない。

Q: 除草剤：藤崎・西目屋は使用しないが？子供たちの安全のため要望します。

A: 検討させてください。

黒石市

Q: ③給付方法は?

A: 両方。医療機関が現物給付を受けていない整骨院とかは償還払にしている。昨年も同様。

Q: ④市独自の差押。増加しているが特徴ありますか?

A: 給与差押が37件他。令和元年が合計108件なので例年並み。

Q: ④留め件数増の理由は?

A: 時期的なもの。8月末が更新。郵送できなかったもの2件。今年は17世帯が窓口に取りに来ていない。

Q: 全世帯郵送?

A: 7月に正規の方に送付。短期の方はそのあとなので遅れる時期ズレ。

Q: 要望書② 恒常的な低所得者はどうする?

A: 44条に習い来庁していただき必要な相談をします。今のところ1件もありません。ケースバイケースになると思います。

Q: 就学援助 51060円は昨年より多い金額ですが?

A: 国の規定より下回ってますが、範囲を広げている。

Q: ラウンドアップ使用しない自治体増えてますが?

A: 禁止薬剤ではないし、使うとしても適正使用しています。

Q: 差押は職員?委託?

A: 債権差押は文書です。差押方法も複数になる方もいます。

Q: 4 保護世帯のエアコン設置 利用者いますか?年金受給者はいいけど、元引だと返すのが難しくないですか?

A: 2件申請がありました。

Q: H30年4月1日以前からの保護受給者の線引きやめてほしい。県へ申し入れてほしい。

A: はい。



平川市

Q: ④アミかけ部分

A: 後日わかればお伝えします。

Q: ④差押

A: 記載漏れ 市独自 43 件 4647777 円・委託 10 件 2745673 円

Q: ⑥後期高齢者の短期は?

A: 交付 3 世帯 留置 1 世帯 (郵送や電話はしていない)

Q: 給食無料化 3-⑥

A: 令和 2 年からコロナ財政支援の交付金を使って無償で予算化。あとは議会承認待ち。

Q: 給食無料化 3-①

A: 9 月議会 一般質問で義務教育まで。

Q: 就学援助

A: 小中学同様です。

Q: 4-② 申請状況は? 2021 との対比など。

A: 令和 4 年 353 世帯、被保護者 417 人。令和 3 年 352 世帯、421 人。令和 2 年 356 世帯、440 人。ほぼ横ばいです。

相談は若干増えている。令和 2 年 101 件 令和 3 年 128 令和 4 年 (4~8 月) 52 件  
申請は増えているのではないかと高齢単身世帯が多い印象。

Q: 4-④ 線引きやめてほしい

A: 平川市の昨年 0 件です。

Q: 4-⑤の内容は?

A: 匿名で「派手な生活」「ギャンブルしてる」とかです。こちらとしては「それがその人の生活全てではない」とお伝えしています。

Q: 4-⑥どこまで伝えるのですか? 民生委員から漏れたりしてませんか?

2022年自治体キャラバン 10月28日(金) pm 大鰐町との懇談の報告

文責 藤原竹二

< 事前調査票について >

- \*子供医療費無料化 昨年までは中学校までだったが、今年は高校までになった。
- \*国保証窓口留め置き数 31世帯(昨年は35世帯) 理由は居所不明など。  
安否確認などの状況把握の強化を要望する。

< 要望書について >

2 介護保険について

- 2-① 介護保険の特別会計について 質問: 財政調整基金の活用を考えているのか。  
回答: 基金を取り崩して保険料を引き下げない取り組みをしてきた。

3 子どもたちの成長を保障するために

- 3-⑥ 学校給食について 食材費は保護者負担。2022年度は給食費無償化事業を実施しているが、来年度は有料に戻す予定。

3-⑨ 除草剤グリホサート使用は基本的にはしていないとの回答。今後も継続を要望する。

4 住民の最低生活を保障するために

- 4-④ 質問: エアコン希望を相談する人はいないか。今日の住宅は冬向きになっており  
熱中症の心配がある。 回答: 住民からエアコンの要望はきていない。  
\*生活保護の利用申請状況を聞く。最近、施設入所する人や単身者の生保申請が  
続いているとの話し。

\*質問: 国の物価高対策の5万円給付にプラスして市町村独自の給付が

中弘南黒地域でも行われているが大鰐町ではどうか。

回答: 昨年度は一世帯5千円の福祉灯油を実施。今年は8~9月に全町民に  
1万2千円の商品券を支給した。

5 住民の健康づくり増進のために

- 5-③ 質問: 住民の健康づくりについて聞く。

回答: 毎月20日を「健康の日」と定め、町内放送で健康づくりの呼びかけをしている。  
コロナ禍の中でなかなかできない状況があるが、まずは自分の身体の状態を知ってもらい  
健康づくりを進めたい。保健師を募集しているが応募がない。

< 就学援助など 調査について >

P T A会費、クラブ活動費などは実施していない。新入学児童生徒徒学用品費などは、来年度に向けて国の基準を目指すとの回答あり。

Q.保健師の採用に苦勞していないか。

A.今年度、採用した。

## 2022 自治体キャラバン懇談報告書（統一書式）

訪問自治体名 五所川原市 報告者 藤田伴之 所属団体 西北五社保協

日時 2022年 10月 24日（月） 10時 30分 ～ 11時 45分

出席者氏名（社保協）：水島・平山・津川・漆館・市田・小野・藤田（西北五社保協）、  
小山内・葛西（津保社保平和委員会） 以上 9名

自治体側氏名・役職：18名

### 1・事前調査票においての特徴点を記載

（新たに導入した取り組みや前年比較との関係で）

- ・今年度、新入学児童生徒学用品費等を国の補助単価まで引き上げた。
- ・2021年度よりGPS機器の提供（利用者3名）や、QRコードラベルシールを県内自治体では初めて実施した。（詳細は特的な記載で）

### 2・要求事項案を踏まえた懇談で特徴的な点を記載

（質疑応答がわかるように記載ください。（例）社保協からの質疑：甲 自治体からの質疑・回答：乙など。形式は問いません）

- ・担税能力のない18歳以下の均等割りを除外するための試算では、半額補助で12,000千円。全額補助で24,000千円。
- ・国保基金の積立額は、10億7千万円。
- ・国保保険料調整額が、131,556円（2021.6）から119,978円（2022.6）と11,578円減少。要因はコロナ禍の影響と思われる。
- ・国保差押え件数・金額が、74件 21,087千円（2020年）から43件 11,312千円（2021年）件数金額が約半数減少。
- ・国保短期保険証交付数が468世帯（2021.9）から388世帯（2022.9）80世帯減少。
- ・国保収納率83.6%（2021年）80.21%（2020年）と収納率が向上している。
- ・介護保険基金の積立額は、11億6千2百万円。
- ・認知症高齢者の事故を未然に防ぐとともに、介護する家族が安心して生活できる環境を整備するため、住民の意見を取り上げ、2021年度よりGPS機器の提供（利用者3名、靴に埋め込む等）や、QRコードラベルシール（自転車や衣服等に貼る）を利用して高齢者の所在を探索することができる機器を希望者に提供している。（県内自治体では初めて）
- ・認知症ラジオ（五所川原エフエム）を毎週月曜日（9:00～9:15）に生放送して認知症の知識や接し方等を、地域包括支援課及び医療、介護に携わる各職種の方に出演いただき、認知症家族にも役立つ内容を伝えている。毎回テーマが異なるようにするため、担当者は大忙しとのこと。それでも市民からは多くの意見感想が寄せられているとのこと。
- ・小中学校の給食無料化を、いち早く実行した五所川原市の影響で、青森市等が無料への舵を切り始めた。
- ・小中学校のトイレの様式化について、小学校は1年に2校ずつ整備している。中学

## 介護保険財政調整基金差引簿(新様式)

年月日	摘要	収納額	払出額	基金現在高	備考
平成27年03月13日	26年度決算		46,130,000	105,420,216	
平成27年06月09日	26年度歳計剰余金	65,226,314		170,646,530	
平成27年06月22日	27年度当初		70,311,000	100,335,530	
平成28年06月10日	28年度当初		20,507,000	79,828,536	
平成28年06月17日	27年度歳計剰余金	240,364,365		320,277,201	
平成28年04月19日	28年度当初		31,461,000	114,846,618	
平成29年06月07日	28年度歳計剰余金	239,467,705		354,114,383	
平成30年05月11日	30年度当初		15,060,000	227,723,147	
平成30年06月08日	29年度歳計剰余金	212,655,878		440,379,025	
平成31年04月01日	31年度当初		40,661,000	268,255,631	
令和元年06月10日	30年度歳計剰余金	250,614,740		518,870,371	
令和02年04月01日	2年度当初		17,254,000	392,792,601	
令和02年06月05日	31年度歳計剰余金	261,520,432		654,313,033	
令和03年04月01日	R03年度当初		45,022,000	494,043,264	
令和03年06月07日	R02年度歳計剰余金	180,954,710		674,997,974	
令和04年04月01日	R04年度当初		83,558,000	496,051,946	
令和04年06月03日	R03年度歳計剰余金	176,321,272		672,373,218	
				672,375,603	

- ・ 新入学児童生徒学用品費等の支給は4月。来年度について再度検討しみる。
  - ・ 小中学校の給食費は、要保護者・準保護者は無料だが、普通児童は有料。
  - ・ 小中学校の様式トイレか。小泊地区は小中100%。中里地区が小学校は13%・中学校は30%と遅れている。
  - ・ 自殺者の取り組みでは、中泊町は直近3年では、R元年1人、R2年2人、R3年4人となっていて、取り組みとして、月1回こころの健康相談や傾聴サロンの開設、その他ゲートキーパー養成講座(フォローアップ講座)、こころの健康教室等、毎年対象を変えながら実施している。
  - ・ 加齢性難聴への補助金の取り組みは、今後他自治体の取り組みを参考にして検討したい。
- 3・来年度へ持ち越す重点課題・事項等を記載
- ・ 新入学児童生徒学用品費等の支給は4月となっているため、2月・3月の支給を。
  - ・ 小中学校の給食費の全面無料化。

以上

## 2022 自治体キャラバン懇談報告書（統一書式）

訪問自治体名 鶴田町 報告者 藤田伴之 所属団体 西北五社保協

日時 2022年 10月 25日 10時30分 ~ 11時40分

出席者氏名（社保協）：平山・津川・漆館・市田・藤田（西北五社保協）、  
平山・下林（津軽保健社保平和委員会） 以上7名

自治体側氏名・役職：4名

### 1・事前調査票においての特徴点を記載

（新たに導入した取り組みや前年比較との関係で）

- ・ 2020年に学校給食無料化を実施した。
- ・ 2022年6月より、子どもの医療費無料化を高校生まで引き上げた。
- ・ 国保の均等割については国保加入者全員半額とした。全世帯で均等割半額・資産割・平等割をゼロ円とした。これに使った予算は1億1千万円。今年度に限りといいつつも2023年度も実施したいとのこと。

### 2・要求事項案を踏まえた懇談で特徴的な点を記載

（質疑応答がわかるように記載ください。（例）社保協からの質疑：甲 自治体からの質疑・回答：乙など。形式は問いません）

- ・ 国保保険料調整額が、143,709円（2021.7）から95,430円（2022.7）と48,279円減少。
- ・ 国保差押え件数・金額が、15件 224千円（2020年）から16件 229千円（2021年）とあまり変わらない。
- ・ 国保短期保険証交付数が131世帯（2021.8）から135世帯（2022.8）4世帯増加。
- ・ 国保収納率94.58%（2021）94.76%（2020）と収納率は高い傾向にある。
- ・ 国保の基金積立額は5億円。
- ・ 国保加入全世帯で資産割と平等割をゼロ円とし、均等割を全世帯半額とする【毛令年度和に限り】
- ・ 認知症の方への取り組みでは、五所川原市の「GPS機器のチップ化で靴に埋込」を紹介すると、さっそく五所川原市担当者と連携をとることになった。
- ・ 介護保険の基金積立額は8千万円。介護保険の補足給付見直しの該当者は10/時で22名の相談件数があり鶴田町として生活できない等の相談があれば対応したい。
- ・ 子どもの医療費無料化を高校生まで引き上げるにあたり、高校生の人数を把握しそのうえで予算化して取り組んだが、財源はあまりかからなかった。
- ・ 新入学児童生徒学用品費等の支給は3月。
- ・ 小中学校給食費無料化は2020年に実施。
- ・ 小中学校の様式トイレか。小学校は100%。中学校は59.9%で2023年には100%とする。
- ・ ネット環境の整備は、環境整備がない家庭にはルーターの貸し出しを行っている。
- ・ 放課後の児童クラブのおやつ代等含む利用料は、月額200円を徴収している。

## 2022 自治体キャラバン懇談報告書（統一書式）

訪問自治体名 板柳町 報告者 藤田伴之 所属団体 西北五社保協

日時 2022年 10月 25日 9時 ~ 10時

出席者氏名（社保協）：平山・津川・漆館・市田・藤田（西北五社保協）、  
平山・下林（津軽保健社保平和委員会） 以上7名

自治体側氏名・役職：7名

### 1・事前調査票においての特徴点を記載

（新たに導入した取り組みや前年比較との関係で）

- ・ 小中学校の学校給食の無料化について、現在試算していて来年度実施に向けて予算化している。
- ・ 2021年度 高校生の医療費無料化を実施した。

### 2・要求事項案を踏まえた懇談で特徴的な点を記載

（質疑応答がわかるように記載ください。（例）社保協からの質疑：甲 自治体からの質疑・回答：乙など。形式は問いません）

- ・ 18歳以下の均等割の対象除外は、前倒しできないか検討している。町独自の財政での補填はきびしい。
- ・ 国保保険料調整額が、178,833円（2021.7）から159,661円（2022.7）と19,172円が減少した。コロナの影響が要因。
- ・ 国保差押え件数・金額が、5件 105千円（2020年）から3件 44千円（2021年）件数金額が約半数減少。
- ・ 国保短期保険証交付数が158世帯（2021.9）から136世帯（2022.9）22世帯減少。
- ・ 国保収納率79.23%（2021）94.2%（2020）収納率が下がっている。現在34%となった。
- ・ 国保の基金積立額は、4億7千万円
- ・ 認知症の方への取り組みでは、「GPS機器」を検討したが機器自体が大きくて断念した経過がある。社保協から五所川原市の「GPS機器のチップ化で靴に埋込」を紹介すると、さっそく業者に問い合わせるようになった。
- ・ 介護保険の基金積立額は、2億7千万円
- ・ 新入学児童生徒学用品費等の支給は5月であるため、2月～3月の支給への前倒しを要望した。町担当者からは児童からの要望がない旨とのことであったが、是非実施してもらう事をお願いし検討することになった。
- ・ 就学援助対象者へのネット環境整備について、アンケートを取り90%以上の児童宅が整備されているため、町としてはモバイルルーターの貸し出しを行っている。
- ・ 児童クラブは町直営で行っていて、1年～4年を対象に利用料は無料とし、おやつ代は月2,000円を徴収している。
- ・ ラウンドアップ等の薬剤使用については、使用しないように今後検討したい。
- ・ 自殺者の取り組みは、司法書士を月1回の相談会を行っている。
- ・ 加齢性難聴への補助金の取り組みについて、今後高齢者が増大するため今から検討



## 2022 自治体キャラバン懇談報告書 (統一書式)

訪問自治体名 鯉ヶ沢 報告者 下林 夏希 所属団体 津軽保健生協

日時 2022年 10月 25日 13時30分 ~ 14時20分

出席者氏名 (社保協) : 水島・市田・津川 (西北五)、平山・八木橋・下林 (津軽保健)

自治体側氏名・役職 : 7名【課長・課長補佐・係長】

### 1・事前調査票においての特徴点を記載

(新たに導入した取り組みや前年比較との関係で)

・モバイルルーターの貸与を検討

・要望に対する回答は当日の懇談がすべてとなった。よって来年度より、文章で事前に提出していただくよう要請した。

・子どもの貧困対策調査については来年度町を上げて実施する予定【保険福祉課】

・放課後児童クラブについて2単位90名利用料2500円おやつ代1200円徴収

### 2・要求事項案を踏まえた懇談で特徴的な点を記載

(質疑応答がわかるように記載ください。(例) 社保協からの質疑：甲 自治体からの質疑・回答：乙など。形式は問いません)

①甲：子供の医療費無償化について

乙：他の子ども支援に費用をまわしていきたい。

②甲：自殺予防事業について

乙：計画はあるが、コロナで事業ができていない。成人式にパンフレット配布はしている。

③甲：放課後児童クラブの自己負担費用について

乙：利用料とおやつ代も含め、見直しする予定

④甲：就学援助の前年度支給について

乙：毎年予算の際、要望をしている。低所得者のみではなく、全員対象としたい。

⑤介護保険についてずっと4千万~5千万黒字している 財政的に安定している

⑥国保の均等割については理解はできるが財政的難しい

⑦就学援助について今年も国の示した基準に近づけた

⑧ラウンドアップは使用していない

⑨生理用品のトイレ配置については検討中

### 3・来年度へ持ち越す重点課題・事項等を記載

・就学援助の前年度支給について。7月支給のため前倒支給を再要望。

・生理用品のトイレ配置については検討中

・他のことも支援に費用を回したいとのことであるがどうなるか楽しみ

\*行数が足りない場合は各々行追加・加工し記載下さい。

現在の位置：ホーム > 組織でさがす > 健康福祉部 > 健康福祉政策課 > 無料低額診療事業、無料低額老健施設利用事業及び無料低額介護医療院利用事業について

関連分野： 健康福祉政策・包括ケア 介護・高齢福祉

更新日付：2022年1月31日 健康福祉政策課

# ① 無料低額診療事業、無料低額老健施設利用事業及び無料低額介護医療院利用事業について

※18歳以下は全体の15%適用

無料低額診療事業は、社会福祉法第2条第3項第9号に基づき、生計困難者のために無料又は低額な料金で診療を行う事業です。

無料低額診療事業実施機関一覧（中核市を除く）

設置主体	医療機関名	所在地	電話番号
津軽保健生活協同組合	健生病院	弘前市扇町2丁目2-2	0172-55-7718
津軽保健生活協同組合	藤代健生病院	弘前市大字藤代2丁目12-1	0172-36-5181
津軽保健生活協同組合	健生クリニック	弘前市扇町2丁目2-12	0172-55-7708
津軽保健生活協同組合	健生五所川原診療所	五所川原市大字一ツ谷508-7	0173-95-2542
津軽保健生活協同組合	健生黒石診療所	黒石市ちとせ3-6	0172-53-3015
一般財団法人 愛成会	弘前愛成会病院	弘前市大字北園1丁目6-2	0172-34-7111

無料低額老健施設利用事業は、社会福祉法第2条第3項第10号に基づき、生計困難者に対して無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設を利用させる事業です。

無料低額老健施設利用事業実施機関一覧（中核市を除く）

設置主体	施設名	所在地	電話番号
社会福祉法人津軽富士見会	老人保健施設ケアセンター弘前	弘前市大字山崎1丁目3-7	0172-87-0111
社会福祉法人伸康会	平成の家	弘前市大字独狐字石田121-1	0172-95-3981
社会福祉法人颯風会	老人保健施設幸陽荘	弘前市大字清野袋字岡部433-1	0172-37-8311
社会福祉法人博陽会	介護老人保健施設希望ヶ丘ホーム	弘前市大字小沢字山崎44-9	0172-87-6655
社会福祉法人桜友会	介護老人保健施設ふじ苑	弘前市大字土堂字長瀬385-1	0172-38-5550
社会福祉法人弘前豊徳会	介護老人保健施設サンタハウス弘前	弘前市大字大川中瀬川18-10	0172-99-1133

②

## 社会福祉法人による低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度について

### 目的

○この制度は、青森県内で介護保険サービスを提供する社会福祉法人が、低所得で生計が困難である方々に対し、介護保険サービスの利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図ることを目的とするものです。

### 軽減対象者

○軽減を受ける利用者は次のすべての要件を満たす必要があります。

・市町村民税非課税世帯である。

・年間収入が単身世帯で150万円(世帯が1人増えるごとに50万円を加算した額)

以下である。

・預貯金等が単身世帯で350万円(世帯が1人増えるごとに100万円を加算した額)

以下である。

・日常生活に供する資産以外に活用できる資産がない。

・負担能力のある親族等に扶養されていない。

・介護保険料を滞納していない。

### 軽減対象サービス

○この制度の対象となるサービスの種類は、次のとおりです。

・(介護予防)訪問介護 ・(介護予防)通所介護 ・(介護予防)短期入所生活介護・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ・夜間対応型訪問介護 ・地域密着型通所介護・(介護予防)認知症対応型通所介護・(介護予防)小規模多機能型居宅介護・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・複合型サービス ・介護福祉施設サービス ・第1号訪問事業のうち介護予防訪問介護に相当する事業及び第1号通所事業のうち介護予防通所介護に相当する事

事業年度		期末	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
事業年度		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

申請人姓名	申請人住所	申請人職名	申請人資格	申請人種別	申請人種別	申請人種別						申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別		
						申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別	申請人種別									申請人種別	申請人種別
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...



「社会福祉法人等に委託した社会福祉事業等に対する介護報酬」の一に「介護報酬」を利用者負担額を算定する法人及び事業所等の単体状況一覧  
 (令和3年6月30日現在)

平成24年1月1日以前開出済みの場合については記載項目は省略して可なり。

法人番号	法人名称	代表者氏名	法人住所	法人種別	法人設立年月日	法人種別	介護報酬		介護報酬		介護報酬		介護報酬		介護報酬		介護報酬	
							介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬
							介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬
00000000000000000000	社会福祉法人 社会福祉協議会	代表者氏名	法人住所	法人種別	法人設立年月日	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬
00000000000000000000	社会福祉法人 社会福祉協議会	代表者氏名	法人住所	法人種別	法人設立年月日	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬	介護報酬

② 国保財政への補填について

1) 青森市に補填する財源はないのか。

【回答】

加入者減少による、保険税収入は年々減少している。それに対し1人当たりの医療費は増加している。独自に軽減拡大すれば収支が悪化するため今はできない。基金残高は令和3年末時点で約6億円。

【再質問】

18歳以下の均等割り廃止の財源は？ 昨年の交渉では約6,000万円くらいと聞いていた。基金残高が6億円あればできるのではないかと思う。一番は市民の暮らしを考えることでは。

2) 国民年金の収入のみで生活している方など恒常的に減免対象となるであろう世帯への周知を徹底してほしい。国保44条減免の実績はあるか？

【回答】

令和3年度に1件申請で1件承認。平成26年度に4件申請で2件承認。1か月単位で承認。延長申請があった際に延長している。

【再質問】

1ヶ月の承認では短すぎる。検討してください。

【回答】

事情があったときには3か月の延長も認めている。

2. 介護保険

① 介護保険財政について

1) 令和3年度の財政調整金や繰越金、基金の残高は？

【回答】

決算残高約17.3億。うち繰越額は1.8億。

2) 第8期では、第7期に比べ第1段階から3段階までの保険料軽減があった。介護保険を利用している市民目線で軽減したのか、その理由は？

【回答】

国の消費税10%増税分に基づき軽減した。あくまでも財源は消費税の増税分。

【再質問】

外的要因で地域住民のためではない？

【回答】

第7期から第8期にかけて介護保険料基準額を据え置いていたためできたこと。仮に、基準額が増えていたとすれば第1段階から第3段階の方も増えていた。

② 令和3年8月の補足給付の見直しの影響について

1) 室料や食事代が増えたことで利用者に大きな影響が出ている。青森市独自での負担軽減策を検討してはどうか？ 無料低額介護老人保健施設（介護医療院）利用事業の適用される事業所をふやしたらどうか？ また、社会福祉法人の低所得者におけるサ



親からの意見では高校まで通うのは当たり前になってきており、医療費の高校生までの無料化を希望する声が聞かれている。毎年、交渉で試算をお願いしているが回答が出ていない。前向きな検討をお願いしたい。

② 就学支援制度について

- 1) 学用品支給の支給月を3月からさらに前倒しできないか？

【回答】

今現在3月中旬から下旬に支給しているが、新小1、新中1の認定処理と、在校生の認定処理と並行して行っている。限られた人材で行っている。23年1月に臨時職員を採用し対応する予定。

【再要請】

数年前は7月支給であったものが、交渉を経て5月、3月となり努力されていることが伺える。学生服は高い。7万円もする。1月に支給できれば理想。せめて2月支給をお願いしたい。

③ 生理用品の学校トイレ設置について

- 1) トイレに行って初めて生理になったことを知ることもある。それをわざわざ保健室にいかねばもらえないのは女性にとっては非常に困ること。トイレの水洗化も児童の実情を踏まえて実施されている。保健室とトイレの両方に置くことはできないのか？柔軟に対応してほしい。

【回答】

子供たちの状況把握しながら配布できるよう保健室に準備している。今後の世論を踏まえ、ただ置くだけではなく、使い方、教育なども含め考えていきたい。

【再要請】

六ヶ所村の市内のトイレ内に生理用品があっぴっくりした。子供たちが大事にされていると実感することで、健やかな成長につながる。柔軟で前向きな対応をお願いしたい。

※上記以外の項目については、再要求として提出することを確認。

文責：

東青社保協 事務局次長 菊池

A. & J

2022年度

# 国保改善運動学習交流集会

2022年12月11日(日)13:30~16:30

無料・完全オンライン開催

基礎講座「国保の歴史と基礎をあらためて学ぼう」

講師：大阪社保協 寺内事務局長



大阪府立大阪社会保険推進協議会代表、理事、事務局長  
大阪府立大阪シンパシー大阪赤松町代表理事

【著書】

「国保の実態と課題をあらためて学ぼう」(2020年日本原研出版センター)

「シングルマザーをめぐって」(共著) (共著) (共著) (共著)

「大阪府立大阪シンパシー大阪赤松町」(2018年刊)

「国保の基礎(おしごと)」(2017年刊)

「国保の歴史と基礎をあらためて学ぼう」(2020年刊) (共著) (共著) (共著) (共著)

実践講座「この春、国保改善へ具体的なたたかい」

講師：愛知県社保協 澤田副議長



北見市立北見市立2018年度愛知県保険医療協会の勤務、事務局長を歴任

2019年10月1日現在、愛知県社会保険推進協議会副議長

2019年10月1日現在、愛知県社会保険推進協議会副議長

2019年10月1日現在、愛知県社会保険推進協議会副議長

## 申込み方法

中央社保協ホームページ会員のページの申し込み  
フォームよりお申し込みください。

登録した方にZOOM情報をお知らせします。

<https://shahokyo.jp/20221211/>

主催：中央社会保険推進協議会

お問い合わせ [k25@shahokyo.jp](mailto:k25@shahokyo.jp)

署名開始		新規2021/12/20						新規2022/6/8						2022年8月1日				
署名締切		継続						第2次集約:2022年12月						第1次集約:2022年11月				
取り扱い		全日本民医連・9条改定NO全国市民アクション						全日本民医連・外科医師を守る会						全日本民医連				
院所施設名	職員 (2022/1/1)現在	職・バ (2022/1/1)現在	憲法改悪を許さない 全国署名						外科医師は無実です 速やかな審理で無罪判決 を!						介護保険制度の改善を 求める請願署名			
			署名 目標 1人 10筆	事業所報告分		達成 率 %	署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成 率 %	署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成 率 %				
				増加数	到達点			増加数	到達点			増加数	到達点					
津 軽 保 健	津軽保健本部	17	16	330	94	149	45%	165			0%	165			0%			
	津軽保健組織(共同含む)	9	5	3,000	47	2,841	95%	1,500	30	30	2%	1,500	153	502	33%			
	健生病院	568	185	7,530	5	2,114	28%	3,765	91	779	21%	3,765	45	535	14%			
	藤代健生・ガーベラ	151	62	2,130	3	834	39%	1,065	109	252	24%	1,065	122	270	25%			
	津軽医院	26	33	590	23	369	63%	295	10	117	40%	295	126	126	43%			
	健生クリニック	57	54	1,110	72	300	27%	555			0%	555	105	333	60%			
	五所川原診療所	8	15	230	5	41	18%	115	5	5	4%	115	10	33	29%			
	黒石診療所	9	8	170	48	48	28%	85	5	15	18%	85	10	43	51%			
	介護センター虹	21	17	380	0	0	0%	190			0%	190	11	11	6%			
	訪問看護STたまち・ナーシングたまち	32	26	580	10	239	41%	290			0%	290	10	65	22%			
	第一包括	7	2	90	79	124	138%	45	66	66	147%	45	45	45	100%			
	地域生活支援びあす	3	2	50	4	22	44%	25	3	3	12%	25			0%			
小計 ※2022.1	908	425	16,190	390	7,081	44%	8,095	319	1,267	16%	8,095	637	1,963	24%				
青 森 保 健	青森保健本部	12	1	130	6	39	30%	65	27	27	42%	65	30	66	102%			
	青森保健組織部(共同含む)	7	1	2,000	29	1,345	67%	1,000			0%	1,000	110	135	14%			
	あおり協立病院-ほほえみ	367	137	5,040	13	253	5%	2,520	15	191	8%	2,520	15	169	7%			
	生協さくら病院・やすらぎ	109	124	2,330	11	325	14%	1,165	13	147	13%	1,165	5	194	17%			
	つつみ	7	15	220	54	54	25%	110			0%	110			0%			
	中部クリニック	19	17	650	55	55	8%	325	20	20	6%	325	22	22	7%			
	安方(YMCS)	9	22	550	67	332	60%	275	60	79	29%	275			0%			
	小計 ※2022.1	530	317	10,920	235	2,403	22%	5,460	135	464	8%	5,460	182	586	11%			
フ ァ ル マ	本部及び居宅	6	5	110	7	109	99%	55	45	45	82%	55	38	88	160%			
	弘前調剤センター	3	3	60	50	50	83%	30	30	30	100%	30	30	30	100%			
	藤代薬局	5	4	90	75	75	83%	45	50	50	111%	45	50	50	111%			
	ファルマ浪岡薬局	2	2	40	35	35	88%	20	25	25	125%	20	20	20	150%			
	黒石薬局	3	5	80	80	80	100%	40	35	35	88%	40	30	30	75%			
	一ツ谷薬局	2	4	60	40	40	67%	30	26	26	87%	30	23	23	77%			
	ファルマ弘前薬局	18	9	270	153	153	57%	135	72	72	53%	135	96	96	71%			
	小計 ※2022.1	39	32	710	440	542	76%	355	283	283	80%	355	287	337	95%			
健 康 企 画	健康企画本部	5	1	60	35	223	372%	30	4	4	13%	30			0%			
	大野あけぼの薬局	16	9	250	40	249	100%	125	5	30	24%	125	35	60	48%			
	中央あけぼの薬局	3	1	40	1	66	165%	20	5	5	25%	20	1	1	5%			
	あけぼの薬局八戸店	4	2	60	2	37	62%	30	5	5	17%	30			0%			
	あけぼの薬局妙見店	7	3	100	6	33	33%	50			0%	50	10	15	30%			
	あけぼの薬局新町店	3	3	60	11	110	183%	30	10	10	33%	30			0%			
	小計 ※2022.1	38	19	570	95	718	126%	285	29	54	19%	285	46	76	27%			
八戸医療生協 ※2022.1	79	108	1,870	19	988	53%	935			0%	935	5	361	39%				
社会福祉法人 花 ※2022.1	47	32	790	180	313	40%	395	14	59	15%	395	14	90	23%				
社会福祉法人 虹 ※2022.1	73	87	1,600	254	1,046	65%	800	10	10	1%	800	4	69	9%				
事業協 ※2022.1	6	0	60	17	17	28%	30	12	12	40%	30	11	11	37%				
県連弘前 ※2022.1	12	0	120	5	5	4%	60			0%	60			0%				
県連青森 ※2022.1	6	1	70	35	71	101%	35	29	29	83%	35	15	15	43%				
総 計	1,738	1,021	31,260	1,670	13,184	42%	16,450	831	2,178	13%	16,630	1,201	3,508	22%				

ハガキ 371

署名開始		2021年11月						新規2021/12/20				2021年7月20日				
署名締切								最終集約:2022年10月末				最終集約:2022年10月末				
取り扱い		全日本民医連・原発なくす会						全日本民医連・原発被害者訴訟原告団全国連絡会				全日本民医連・日本医療福祉生活協同組合連合会				
院所施設名	職員 (2022/1/1)現在	臨・パ (2022/1/1)現在	ALPS(ALPS)処理水 海洋放出に反対する署名						福島第1原発事故の責任の究明と 被害救済、原発事故の根絶に向け 公正な判決を求める署名				保険でより良い歯科医療 を求める請願署名			
			署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%	署名目 標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%	署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%		
				増加数	到達点			増加数	到達点			増加数	到達点			
津 軽 保 健	津軽保健本部	17	16	165	41	41	25%	165	50	50	30%	165	51	51	31%	
	津軽保健組織(共同含む)	9	5	1,500	5	164	11%	1,500	7	92	6%	1,500	5	331	22%	
	健生病院	568	185	3,765	5	636	17%	3,765	11	713	19%	3,765	30	1,133	30%	
	藤代健生・ガーベラ	151	62	1,065	70	364	34%	1,065	33	320	30%	1,065	8	411	39%	
	津軽医院	26	33	295	0	0	0%	295	177	177	60%	295	166	166	56%	
	健生クリニック	57	54	555	5	217	39%	555	52	189	34%	555	0	0	0%	
	五所川原診療所	8	15	115	5	25	22%	115	5	5	4%	115	7	7	6%	
	黒石診療所	9	8	85	15	36	42%	85	5	58	68%	85	9	56	66%	
	介護センター虹	21	17	190	20	20	11%	190	0	0	0%	190	26	81	43%	
	訪問看護STたまち・ナーシングたまち	32	26	290	30	95	33%	290	60	95	33%	290	22	72	25%	
	第一包括	7	2	45	45	45	100%	45	15	60	133%	45	45	45	100%	
	地域生活支援びあす	3	2	25	2	2	8%	25	2	13	52%	25	11	11	44%	
小計 ※2022.1	908	425	8,095	243	1645	20%	8,095	417	1,772	22%	8,095	380	2,364	29%		
青 森 保 健	青森保健本部	12	1	65	14	14	22%	65	17	17	26%	65	2	25	38%	
	青森保健組織部(共同含む)	7	1	1,000	0	0	0%	1,000	45	45	5%	1,000	26	160	16%	
	あおもり協立病院-ほほえみ	367	137	2,520	24	172	7%	2,520	12	332	13%	2,520	26	337	13%	
	生協さくら病院・やすらぎ	109	124	1,165	12	298	26%	1,165	11	142	12%	1,165	2	201	17%	
	つつみ	7	15	110	9	79	72%	110	59	59	54%	110	30	50	45%	
	中部クリニック	19	17	325	0	0	0%	325	0	0	0%	325	0	0	0%	
	安方(YMCS)	9	22	275	10	160	58%	275	8	158	57%	275	5	115	42%	
小計 ※2022.1	530	317	5,460	69	723	13%	5,460	152	753	14%	5,460	91	888	16%		
フ ァ ル マ	本部及び居宅	6	5	55	30	30	55%	55	0	0	0%	55	25	25	45%	
	弘前調剤センター	3	3	30	30	30	100%	30	0	0	0%	30	30	30	100%	
	藤代薬局	5	4	45	40	45	100%	45	0	0	0%	45	45	45	100%	
	ファルマ浪岡薬局	2	2	20	25	25	200%	20	0	0	0%	20	30	30	150%	
	黒石薬局	3	5	40	35	40	100%	40	0	0	0%	40	35	35	88%	
	一ツ谷薬局	2	4	30	30	30	100%	30	0	0	0%	30	45	45	150%	
	ファルマ弘前薬局	18	9	135	102	102	76%	135	0	0	0%	135	113	113	84%	
小計 ※2022.1	39	32	355	292	302	85%	355	0	0	0%	355	323	323	91%		
健 康 企 画	健康企画本部	5	1	30	0	0	0%	30	0	5	17%	30	0	9	30%	
	大野あけぼの薬局	16	9	125	0	0	0%	125	0	0	0%	125	0	15	12%	
	中央あけぼの薬局	3	1	20	0	0	0%	20	9	11	55%	20	7	12	60%	
	あけぼの薬局八戸店	4	2	30	0	0	0%	30	0	0	0%	30	0	0	0%	
	あけぼの薬局妙見店	7	3	50	0	0	0%	50	5	26	52%	50	10	19	38%	
	あけぼの薬局新町店	3	3	30	0	0	0%	30	0	0	0%	30	0	0	0%	
小計 ※2022.1	38	19	285	0	0	0%	285	14	42	15%	285	17	55	19%		
八戸医療生協	※2022.1	79	108	935	415	415	44%	935	420	420	45%	935	8	60	6%	
社会福祉法人 花	※2022.1	47	32	395	13	89	23%	395	70	70	18%	395	5	68	17%	
社会福祉法人 虹	※2022.1	73	87	800	16	117	15%	800	10	85	11%	800	30	155	19%	
事業協	※2022.1	6	0	30	9	9	30%	30	0	0	0%	30	5	5	17%	
県連弘前	※2022.1	12	0	60	15	19	32%	60	5	5	8%	60	0	0	0%	
県連青森	※2022.1	6	1	35	5	15	43%	35	5	5	14%	35	5	38	109%	
総 計		1,738	1,021	15,630	1,077	3,334	21%	15,630	1,093	3,152	20%	15,630	864	3,956	25%	



署名開始		2022年10月						2022年11月			2022年11月				
署名締切		第1次集約:2023年3月						第1次集約:2022年11月30日			第1次集約:2022年11月25日				
取り扱い		子ども医療全国ネット・全日本民医連						全日本民医連・マイナンバー制度反対連絡会			原発をなくす全国連絡会(全日本民医連気付)				
院所施設名	職員 (2022/1/1)現在	臨・パ (2022/1/1)現在	「国の制度として、18歳までの医療費窓口負担を無料に」請願署名						マイナンバーカード取替義務化に伴う「健康保険証の原則廃止」と「マイナンバーカードの保険証利用等に備えるシステム導入の義務化」の推進を求める署名			岸田政権の「新・原発推進政策」に反対する緊急全国署名			
			署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%		署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%		署名 目標 1人 5筆	事業所報告分	
				増加数	到達点			増加数	到達点			増加数	到達点		
津 軽 保 健	津軽保健本部	17	16	165			0%	165			0%	165			0%
	津軽保健組織(共同含む)	9	5	1,500	15	15	1%	1,500			0%	1,500			0%
	健生病院	568	185	3,765	215	215	6%	3,765			0%	3,765			0%
	藤代健生・ガーベラ	151	62	1,065			0%	1,065			0%	1,065			0%
	津軽医院	26	33	295			0%	295			0%	295			0%
	健生クリニック	57	54	555			0%	555			0%	555			0%
	五所川原診療所	8	15	115			0%	115			0%	115			0%
	黒石診療所	9	8	85	27	27	32%	85			0%	85			0%
	介護センター虹	21	17	190			0%	190			0%	190			0%
	訪問看護STたまち・ナーシングたまち	32	26	290	35	35	12%	290			0%	290			0%
	第一包括	7	2	45	45	45	100%	45			0%	45	45	45	100%
	地域生活支援びあす	3	2	25			0%	25			0%	25			0%
小計 ※2022.1	908	425	8,095	337	337	4%	8,095	0	0	0%	8,095	45	45	1%	
青 森 保 健	青森保健本部	12	1	65	25	25	38%	65			0%	65	25	25	38%
	青森保健組織部(共同含む)	7	1	1,000			0%	1,000			0%	1,000			0%
	あおり協立病院-ほほえみ	367	137	2,520	62	82	3%	2,520			0%	2,520	56	56	2%
	生協さくら病院・やすらぎ	109	124	1,165	16	16	1%	1,165			0%	1,165	15	15	1%
	つつみ	7	15	110			0%	110			0%	110			0%
	中部クリニック	19	17	180	13	33	18%	180			0%	180	23	31	17%
	安方(YMCS)	9	22	155			0%	155			0%	155			0%
	小計 ※2022.1	530	317	5,195	116	156	3%	5,195	0	0	0%	5,195	119	127	2%
フ ァ ル マ	本部及び居宅	6	5	55	45	45	82%	55			0%	55			0%
	弘前調剤センター	3	3	30	30	30	100%	30			0%	30			0%
	藤代薬局	5	4	45	50	50	111%	45			0%	45			0%
	ファルマ浪岡薬局	2	2	20	25	25	125%	20			0%	20			0%
	黒石薬局	3	5	40	35	35	88%	40			0%	40			0%
	一ツ谷薬局	2	4	30	27	27	90%	30			0%	30			0%
	ファルマ弘前薬局	18	9	135	70	70	52%	135			0%	135			0%
小計 ※2022.1	39	32	355	282	282	79%	355	0	0	0%	355	0	0	0%	
健 康 企 画	健康企画本部	5	1	30			0%	30			0%	30			0%
	大野あけぼの薬局	16	9	125			0%	125			0%	125			0%
	中央あけぼの薬局	3	1	20	2	2	10%	20			0%	20			0%
	あけぼの薬局八戸店	4	2	30			0%	30			0%	30			0%
	あけぼの薬局妙見店	7	3	50			0%	50			0%	50			0%
	あけぼの薬局新町店	3	3	30			0%	30			0%	30			0%
	小計 ※2022.1	38	19	285	2	2	1%	285	0	0	0%	285	0	0	0%
八戸医療生協 ※2022.1	79	108	935	160	255	27%	935			0%	935			0%	
社会福祉法人 花 ※2022.1	47	32	395	110	110	28%	395			0%	395			0%	
社会福祉法人 虹 ※2022.1	73	87	800			0%	800			0%	800			0%	
事業協 ※2022.1	6	0	30	10	10	33%	30			0%	30	10	10	33%	
県連弘前 ※2022.1	12	0	60			0%	60			0%	60			0%	
県連青森 ※2022.1	6	1	35			0%	35			0%	35			0%	
総 計	1,738	1,021	16,185	1,017	1,152	7%	16,185	0	0	0%	16,185	174	182	1%	

署名開始			2015年3月					2021年1月					2021年8月				
署名締切																	
取り扱い			安保破棄中央実行委員会					全日本民医連					全日本民医連				
院所施設名	職員 (2022/1/1)現在	臨・パ (2022/1/1)現在	辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願					唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名					オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める署名				
			署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%	署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%	署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%			
				増加数	到達点			増加数	到達点			増加数	到達点				
津 軽 保 健	津軽保健本部	17	16	165	0	127	77%	165	28	85	52%	165	16	69	42%		
	津軽保健組織(共同含む)	9	5	1,500	5	450	30%	1,500	7	1,617	108%	1,500	3	236	16%		
	健生病院	568	185	3,765	30	1,627	43%	3,765	338	1,093	29%	3,765	1	1,227	33%		
	藤代健生・ガーベラ	151	62	1,065	0	1,187	111%	1,065	23	428	40%	1,065	10	381	36%		
	津軽医院	26	33	295	45	287	97%	295	171	171	58%	295	73	226	0%		
	健生クリニック	57	54	555	0	708	128%	555	11	242	44%	555	5	215	118%		
	五所川原診療所	8	15	115	0	273	237%	115	5	87	76%	115	10	39	34%		
	黒石診療所	9	8	85	0	167	196%	85	5	88	104%	85	40	40	47%		
	介護センター虹	21	17	190	0	491	258%	190	5	55	29%	190	15	15	8%		
	訪問看護STたまち・ナーシングたまち	32	26	290	0	264	91%	290	5	113	39%	290	70	138	48%		
	第一包括	7	2	45	0	30	67%	45	45	45	100%	45	45	45	100%		
	地域生活支援びあす	3	2	25	0	19	76%	25	5	21	84%	25	3	3	12%		
	小計 ※2022.1	908	425	8,095	80	5,630	70%	8,095	648	4,045	50%	8,095	291	2,634	33%		
青 森 保 健	青森保健本部	12	1	65	1	50	77%	65	1	21	32%	65	2	21	32%		
	青森保健組織部(共同含む)	7	1	1,000	10	235	24%	1,000	60	60	6%	1,000	0	0	0%		
	あおり協立病院・ほほえみ	367	137	2,520	30	942	37%	2,520	5	338	13%	2,520	12	357	14%		
	生協さくら病院・やすらぎ	109	124	1,165	53	455	39%	1,165	3	204	18%	1,165	12	126	11%		
	つつみ	7	15	110	40	100	91%	110	30	30	27%	110	5	178	162%		
	中部クリニック	19	17	325	5	149	46%	325	28	118	36%	325	0	0	0%		
	安方(YMCS)	9	22	275	0	388	141%	275	0	0	0%	275	17	131	48%		
	小計 ※2022.1	530	317	5,460	139	2,319	42%	5,460	127	771	14%	5,460	48	813	15%		
フ ァ ル マ	本部及び居宅	6	5	55	0	88	160%	55	5	35	64%	55	30	30	55%		
	弘前調剤センター	3	3	30	0	35	117%	30	29	29	97%	30	30	30	100%		
	藤代薬局	5	4	45	0	68	151%	45	40	40	89%	45	40	40	89%		
	ファルマ浪岡薬局	2	2	20	0	43	215%	20	30	30	150%	20	25	25	125%		
	黒石薬局	3	5	40	0	50	125%	40	35	35	88%	40	40	40	100%		
	一ツ谷薬局	2	4	30	0	55	183%	30	30	30	100%	30	30	30	100%		
	ファルマ弘前薬局	18	9	135	0	261	193%	135	123	123	91%	135	109	109	81%		
	小計 ※2022.1	39	32	355	0	600	169%	355	292	322	91%	355	304	304	86%		
健 康 企 画	健康企画本部	5	1	30	0	5	17%	30	0	0	0%	30	0	2	7%		
	大野あけぼの薬局	16	9	125	0	711	569%	125	50	355	284%	125	0	41	33%		
	中央あけぼの薬局	3	1	20	0	115	575%	20	0	31	155%	20	0	4	20%		
	あけぼの薬局八戸店	4	2	30	5	136	453%	30	5	48	160%	30	0	10	33%		
	あけぼの薬局妙見店	7	3	50	5	151	302%	50	10	65	130%	50	5	16	32%		
	あけぼの薬局新町店	3	3	30	0	63	210%	30	10	94	313%	30	0	0	0%		
	小計 ※2022.1	38	19	285	10	1,181	414%	285	75	593	208%	285	5	73	26%		
八戸医療生協 ※2022.1	79	108	935	0	314	34%	935	7	388	41%	935	4	441	47%			
社会福祉法人 花 ※2022.1	47	32	395	0	170	43%	395	12	79	20%	395	14	61	15%			
社会福祉法人 虹 ※2022.1	73	87	800	10	737	92%	800	26	155	19%	800	93	123	15%			
事業協 ※2022.1	6	0	30	0	15	50%	30	0	0	0%	30	0	0	0%			
県連弘前 ※2022.1	12	0	60	5	15	25%	60	5	14	23%	60	6	6	10%			
県連青森 ※2022.1	6	1	35	13	61	174%	35	4	30	86%	35	31	31	89%			
総 計	1,738	1,021	15,630	257	11,042	71%	15,630	1,196	6,397	41%	15,630	796	4,486	29%			

署名開始		2022年8月1日						2020年9月10日				
署名締切		最終集約:2022年8月末						最終集約:2022年8月末				
取り扱い		いのちのとおりで裁判あおりアクション						青森県を最終処分地しない県民の会				
院所施設名	職員 (2022/1/1)現在	臨・パ (2022/1/1)現在	生活保護基準引き下げを適法とする判決を求める要請書					青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地としない条例制定を求める要請				
			署名 目標 1人 5筆	事業所報告分		達成率%	署名 目標 1人 10筆	事業所報告分		達成率%		
				増加数	到達点			増加数	到達点			
津 軽 保 健	津軽保健本部	17	16	330			0%	330	21	108	33%	
	津軽保健組織(共同含む)	9	5	3,000	15	280	9%	3,000	8	1,114	37%	
	健生病院	568	185	7,530	91	654	9%	7,530	2	2,198	29%	
	藤代健生・ガーベラ	151	62	2,130	84	84	4%	2,130	71	861	40%	
	津軽医院	26	33	590			0%	590	165	509	86%	
	健生クリニック	57	54	1,110	58	168	15%	1,110	20	275	25%	
	五所川原診療所	8	15	230	5	11	5%	230	5	68	30%	
	黒石診療所	9	8	170	13	13	8%	170	5	145	85%	
	介護センター虹	21	17	380	11	11	3%	380	17	58	15%	
	訪問看護STたまち・ナーシングたまち	32	26	580	60	104	18%	580	22	273	47%	
	第一包括	7	2	90	45	45	50%	90	45	85	94%	
	地域生活支援びあす	3	2	50	17	17	34%	50	1	16	32%	
	小計 ※2022.1	908	425	16,190	399	1,387	9%	16,190	382	5,710	35%	
青 森 保 健	青森保健本部	12	1	130	21	68	52%	130	1	48	37%	
	青森保健組織部(共同含む)	7	1	2,000			0%	2,000	20	341	17%	
	あおり協立病院-ほほえみ	367	137	5,040	32	104	2%	5,040	11	803	16%	
	生協さくら病院・やすらぎ	109	124	2,330	5	183	8%	2,330	12	112	5%	
	つつみ	7	15	220			0%	220	10	85	39%	
	中部クリニック	19	17	650			0%	650	22	130	20%	
	安方(YMCS)	9	22	550	15	15	3%	550	5	120	22%	
	小計 ※2022.1	530	317	10,920	73	370	3%	10,920	81	1,639	15%	
フ ァ ル マ	本部及び居宅	6	5	110	55	55	50%	110	45	45	41%	
	弘前調剤センター	3	3	60	30	30	50%	60	30	30	50%	
	藤代薬局	5	4	90	50	50	56%	90	40	40	44%	
	ファルマ浪岡薬局	2	2	40	20	20	50%	40	55	55	138%	
	黒石薬局	3	5	80	34	34	43%	80	35	65	81%	
	一ツ谷薬局	2	4	60	30	30	50%	60	25	25	42%	
	ファルマ弘前薬局	18	9	270	103	103	38%	270	117	117	43%	
	小計 ※2022.1	39	32	710	322	322	45%	710	347	377	53%	
健 康 企 画	健康企画本部	5	1	60	5	5	57%	60	0	0	263%	
	大野あけぼの薬局	16	9	250			0%	250	8	23	9%	
	中央あけぼの薬局	3	1	40	4	4	10%	40	0	10	25%	
	あけぼの薬局八戸店	4	2	60	10	10	17%	60	10	55	92%	
	あけぼの薬局妙見店	7	3	100			0%	100	5	60	60%	
	あけぼの薬局新町店	3	3	60	15	15	25%	60	0	10	17%	
	小計 ※2022.1	38	19	570	34	34	6%	570	23	158	28%	
八戸医療生協 ※2022.1	79	108	1,870	3	378	20%	1,870	15	718	38%		
社会福祉法人花 ※2022.1	47	32	790	8	193	24%	790	2	73	9%		
社会福祉法人虹 ※2022.1	73	87	1,600	7	15	1%	1,600	5	337	21%		
事業協 ※2022.1	6	0	60			0%	60	5	14	23%		
県連弘前 ※2022.1	12	0	120			0%	120	5	5	4%		
県連青森 ※2022.1	6	1	70	23	23	33%	70	5	45	64%		
総 計	1,738	1,021	31,260	869	2,722	9%	31,260	870	9,076	29%		

## 2022年度 第2回三八社保協幹事会 議事録

○開催日時：2022年10月21日（金）13:30～15:30

○場 所：八戸医療生協本部2F 大会議室

出 欠：

○	会長 中道博章（医療生協）	○	一山 恭（新婦人）
○	副会長 高橋靖昌（年金者組合）	欠	田村儀則（高教組）
○	高橋邦彦（生健会）	○	事務局長 荒岡英孔（医療生協）
○	中屋敷泰一（地労連）	/	事務局 木村儀弘（医療生協）
欠	尾崎ミチ（民商）	○	事務局 佐々木美音緒（医療生協）
欠	田端深雪（県教組）	-	会計監査 新岡武信（地労連）

### 1. 学習会(13:35～14:35)

○講師 津川文彦氏（県社保協幹事）

- ・テーマ 自治体キャラバン要求項目を深める
- ・時 間 お話し(50分)、質疑、意見交換(15分)

⇒講師は、要望書に沿って話された。それぞれの要望項目について、それらが何を求め、自治体の回答の内容についての評価もされていた。

参加者からは、懇談当日、どこにポイントにおいて質問したらいいかなどの質問があった。また、各要望に関連する現状について情報共有をした。

- ・共同墓地の件、生保の給地の見直しの件、小中学校のトイレの洋式化の件、生保受給者のエアコン設置の補助の件等々

### 2. 主な行事

別紙1（医療生協理事会資料より抜粋）

### 3. 前回の幹事会議事録の確認

※総会の後に県社保協の自治体キャラバン、今後の流れを参考に今後の日程を話し合いました。

◇総会では、提案通り確認されましたが、活動方針案の中で以下のように訂正が指摘されました。

- ・2-②青森年金裁判を支援する三八連絡会は解散しているとの報告。

◇今後の日程について、9/21の県社保協の最終決定をうけて、11月上旬に各自治体へ訪問行動を予定。次の幹事会は10/21と決定。

### 4. 各団体からの報告

◇年金者組合三八支部～加齢性難聴者の補聴器購入について八戸市独自の財



政補助を要請する予定。署名へのご協力を

## 5. 報告事項

- ・今回は省略。

## 6. 自治体キャラバンに向けて

### 1) 日程確認

- ◇三戸町 11月 1日(火) 14:00～(本部13:00集合出発)  
参加者：中道博章、木村儀弘、一山恭、田端深雪、中屋敷泰一、高橋靖昌、(年金者組合)、高橋邦彦
- ◇新郷村 11月10日(木) 11:00～(本部10:00集合出発)  
参加者：中道博章、木村儀弘、中屋敷泰一、高橋邦彦、(田端)
- ◇八戸市 12月 1日(木) 10:30～(現地ロビー10:20集合)  
参加者：中道博章、木村儀弘、荒岡英孔、内田弘志、高橋邦彦、中屋敷泰一、一山恭、高橋靖昌、(田端深雪)

### 2) 要求項目：主担当団体の確認

- ①. 国民健康保険 ⇒生健会
- ②. 介護・高齢者対策 ⇒医療生協
- ③. 子ども施策、子育て支援 ⇒新婦人、県教組
- ④. 生活保護 ⇒生健会
- ⑤. 健診、保健予防 ⇒医療生協
- ⑥. 県、国への要請 ⇒各団体

### 3) 関連して

- ・移動に伴うガソリン代等は、後でまとめて県社保協に請求する。木村まで報告すること。

## 7. 次回、開催日の確認

定例 2022年12月 9日(金)、14:30～15:30

以上。

（これか最終版です）

2022年自治体キャラバン日程表 各自治体 県社保協 津川 様 (最終参加者) 2022/10/31

11月1日 (火)	7戸町 (4)	東北町 (2)	野辺地町 (3)	磯浜町 (5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>豊興</td><td>年金者</td><td>行政側から</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>七戸町</td><td>参加者</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>感染防止で</td><td>小笠原邦定</td><td>村上裕子</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>対面要請で</td><td></td><td>沖津正博</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>なく旺一で</td><td></td><td>沖津由子</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>対応</td><td></td><td>小笠原邦定</td></tr> </table>	団体名	豊興	年金者	行政側から	参加者	七戸町	参加者	安西英軌	団体名	豊川英美	豊川英美	豊川英美	参加者	感染防止で	小笠原邦定	村上裕子	団体名	対面要請で		沖津正博	参加者	なく旺一で		沖津由子	団体名	対応		小笠原邦定	<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>年金者</td><td>安西英軌</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>小笠原邦定</td><td></td><td>村上裕子</td></tr> <tr><td>参加者</td><td></td><td></td><td>沖津正博</td></tr> <tr><td>団体名</td><td></td><td></td><td>沖津由子</td></tr> <tr><td>参加者</td><td></td><td></td><td>小笠原邦定</td></tr> </table>	団体名	年金者	安西英軌	安西英軌	参加者	豊川英美	豊川英美	豊川英美	団体名	小笠原邦定		村上裕子	参加者			沖津正博	団体名			沖津由子	参加者			小笠原邦定	<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>年金者</td><td>安西英軌</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>小笠原邦定</td><td></td><td>村上裕子</td></tr> <tr><td>参加者</td><td></td><td></td><td>沖津正博</td></tr> <tr><td>団体名</td><td></td><td></td><td>沖津由子</td></tr> <tr><td>参加者</td><td></td><td></td><td>小笠原邦定</td></tr> </table>	団体名	年金者	安西英軌	安西英軌	参加者	豊川英美	豊川英美	豊川英美	団体名	小笠原邦定		村上裕子	参加者			沖津正博	団体名			沖津由子	参加者			小笠原邦定	<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>年金者</td><td>安西英軌</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>小笠原邦定</td><td></td><td>村上裕子</td></tr> <tr><td>参加者</td><td></td><td></td><td>沖津正博</td></tr> <tr><td>団体名</td><td></td><td></td><td>沖津由子</td></tr> <tr><td>参加者</td><td></td><td></td><td>小笠原邦定</td></tr> </table>	団体名	年金者	安西英軌	安西英軌	参加者	豊川英美	豊川英美	豊川英美	団体名	小笠原邦定		村上裕子	参加者			沖津正博	団体名			沖津由子	参加者			小笠原邦定																																																																																																																																																																																													
団体名	豊興	年金者	行政側から																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	七戸町	参加者	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	豊川英美	豊川英美	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	感染防止で	小笠原邦定	村上裕子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	対面要請で		沖津正博																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	なく旺一で		沖津由子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	対応		小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	年金者	安西英軌	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	豊川英美	豊川英美	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	小笠原邦定		村上裕子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者			沖津正博																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名			沖津由子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者			小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	年金者	安西英軌	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	豊川英美	豊川英美	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	小笠原邦定		村上裕子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者			沖津正博																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名			沖津由子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者			小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	年金者	安西英軌	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	豊川英美	豊川英美	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	小笠原邦定		村上裕子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者			沖津正博																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名			沖津由子																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者			小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11月2日 (水)	十和田市 (14)	六戸町	おいらせ町 (3)	六戸町 (3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>吉米穂</td><td>年金者</td><td>安西英軌</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>小笠原良子</td><td>小笠原良子</td><td>豊川英美</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>荒尾次伎</td><td>福沢福治</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>斗沢輝夫</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>福沢福治</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>佐々木源代</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>藤原みのり</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>吉崎とよ子</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>白浜達人</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>沼田勉</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>安西英軌</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>豊川英美</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>村上昌子</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>藤原節子</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>中野茂久穂</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>山崎とも</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	団体名	吉米穂	年金者	安西英軌	安西英軌	参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美	豊川英美	団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定	参加者	荒尾次伎	福沢福治			団体名	斗沢輝夫				参加者	福沢福治				団体名	佐々木源代				参加者	藤原みのり				団体名	吉崎とよ子				参加者	白浜達人				団体名	沼田勉				参加者	安西英軌				団体名	豊川英美				参加者	村上昌子				団体名	藤原節子				参加者	中野茂久穂				団体名	山崎とも				<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>年金者</td><td>安西英軌</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>小笠原良子</td><td>小笠原良子</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>荒尾次伎</td><td>福沢福治</td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>斗沢輝夫</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>福沢福治</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>佐々木源代</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>藤原みのり</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>吉崎とよ子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>白浜達人</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>沼田勉</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>安西英軌</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>豊川英美</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>村上昌子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>藤原節子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>中野茂久穂</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>山崎とも</td><td></td><td></td></tr> </table>	団体名	年金者	安西英軌	安西英軌	参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美	団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定	参加者	荒尾次伎	福沢福治		団体名	斗沢輝夫			参加者	福沢福治			団体名	佐々木源代			参加者	藤原みのり			団体名	吉崎とよ子			参加者	白浜達人			団体名	沼田勉			参加者	安西英軌			団体名	豊川英美			参加者	村上昌子			団体名	藤原節子			参加者	中野茂久穂			団体名	山崎とも			<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>年金者</td><td>安西英軌</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>小笠原良子</td><td>小笠原良子</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>荒尾次伎</td><td>福沢福治</td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>斗沢輝夫</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>福沢福治</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>佐々木源代</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>藤原みのり</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>吉崎とよ子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>白浜達人</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>沼田勉</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>安西英軌</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>豊川英美</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>村上昌子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>藤原節子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>中野茂久穂</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>山崎とも</td><td></td><td></td></tr> </table>	団体名	年金者	安西英軌	安西英軌	参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美	団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定	参加者	荒尾次伎	福沢福治		団体名	斗沢輝夫			参加者	福沢福治			団体名	佐々木源代			参加者	藤原みのり			団体名	吉崎とよ子			参加者	白浜達人			団体名	沼田勉			参加者	安西英軌			団体名	豊川英美			参加者	村上昌子			団体名	藤原節子			参加者	中野茂久穂			団体名	山崎とも			<table border="1"> <tr><td>団体名</td><td>年金者</td><td>安西英軌</td><td>安西英軌</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>小笠原良子</td><td>小笠原良子</td><td>豊川英美</td></tr> <tr><td>団体名</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td><td>小笠原邦定</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>荒尾次伎</td><td>福沢福治</td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>斗沢輝夫</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>福沢福治</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>佐々木源代</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>藤原みのり</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>吉崎とよ子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>白浜達人</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>沼田勉</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>安西英軌</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>豊川英美</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>村上昌子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>藤原節子</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>参加者</td><td>中野茂久穂</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>団体名</td><td>山崎とも</td><td></td><td></td></tr> </table>	団体名	年金者	安西英軌	安西英軌	参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美	団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定	参加者	荒尾次伎	福沢福治		団体名	斗沢輝夫			参加者	福沢福治			団体名	佐々木源代			参加者	藤原みのり			団体名	吉崎とよ子			参加者	白浜達人			団体名	沼田勉			参加者	安西英軌			団体名	豊川英美			参加者	村上昌子			団体名	藤原節子			参加者	中野茂久穂			団体名	山崎とも		
団体名	吉米穂	年金者	安西英軌	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																
参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																
団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																
参加者	荒尾次伎	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
団体名	斗沢輝夫																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	佐々木源代																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	藤原みのり																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	吉崎とよ子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	白浜達人																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	沼田勉																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	村上昌子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	藤原節子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	中野茂久穂																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	山崎とも																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	年金者	安西英軌	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	荒尾次伎	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
団体名	斗沢輝夫																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	佐々木源代																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	藤原みのり																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	吉崎とよ子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	白浜達人																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	沼田勉																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	村上昌子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	藤原節子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	中野茂久穂																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	山崎とも																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	年金者	安西英軌	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	荒尾次伎	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
団体名	斗沢輝夫																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	佐々木源代																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	藤原みのり																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	吉崎とよ子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	白浜達人																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	沼田勉																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	村上昌子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	藤原節子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	中野茂久穂																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	山崎とも																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	年金者	安西英軌	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	小笠原良子	小笠原良子	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
団体名	小笠原邦定	小笠原邦定	小笠原邦定																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参加者	荒尾次伎	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
団体名	斗沢輝夫																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	福沢福治																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	佐々木源代																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	藤原みのり																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	吉崎とよ子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	白浜達人																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	沼田勉																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	安西英軌																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	豊川英美																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	村上昌子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	藤原節子																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
参加者	中野茂久穂																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
団体名	山崎とも																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

11月18日 (金)	参加者名	団体名	昨年度参加者	六戸町 (3)
		年金者	安西英軌	9:30
		民商	豊川英美	安西英軌
		八医十	小笠原邦定	豊川英美
				小笠原邦定
11月18日 (金)	参加者名	団体名	昨年度参加者	三沢市 (4)
		年金者	安西英軌	11:00
		民商	豊川英美	安西英軌
		八医十	小笠原邦定	豊川英美
		共産党	奥本なおみ	小笠原邦定
				奥本なおみ